望山を奉體して入城、七日郡

牧野侍從春川

災害地震地震級のため午前九時目

命理論家の反對を招いてゐるし、また一方近年國社會主義の理論に基くスターリン主義は理論ドイフは右派を提供する否なくファッショ提携は第なる言語りに論

派閥の對立深刻

一月新憲法發布前後において

重大な難局に逢着か

一、ジノヴイニフなどトロッすると次の通りである

め農民搾取を依然繼續するので農民の不滿勞働團體の反感を買ひ反政府的運動が擡頭外革命理論家の反對を招いてゐるし、また一方近年凶作にも拘らず五ケ年計畫强化の 作において設飾中でもつ が開催陣容に就いては目下 て別組されることとなった

ロフ陸相、ブリユツヘル極東軍司令官その他を推戴して私兵化傾向を示し に充満してゐる事質が暴露されてをりかくてり

関下部脈は駅府車を不急打し帯脇 方鞭線においてはヴァレラ射軍の

等の手中にある」と基語してゐる

總攻擊開始 革命軍サ市

七日同盟革命軍は七日

山崩ミ小河氾濫が

歯脛したといはれる、右競争にお 組英殿を開始した、攻撃の主力は趙傲百五十、離十門、戦略二歌を サン・セパステアンに向つて竪甍

ベ要塞に集中され革命軍は重値の

歌府軍側の飛行機も 弥大いに「話」形を開始することになった、支那「日の須磨、 交部長振華氏と館取し先つ産館交時三十分上海郷屋氏、本日中に外 交渉に動し川越大使と打合せを終 へた須暦度京郷領導は八日午旬七 【南京八日同盟】成都事性の正式 | 剛でも八日午前九時三十分亜洲前 解るが重な態度を 館見時間その他語数の打合せをな長島派氏を表が郷領事館に派し

側の態度も略に物阻するものと見 しこれに對する支那側の態度順に 収を決定する語(凸版は張群氏) 予後の日支陽像打削に到する支那 取締要求をなず割でその結果支那 定例閣議

【東京証前】八日の定例閣談は午

井十太郎氏を、その後住に田村光 太郎氏を、題に技術部副音談長に

小野に選する意見を述べ次いで

八城營兵衛廿八聯隊

**際草を送つて來た、用いると中** 

と形式、次いで矢島総林局長代理 総督、總監が効使として参向すー

けふ局長會議で各局長水害報告

米穀自治管理法施行動やは八日 と述べ、過酸の優化管内水害状況の問題で決定し十五日から飛行。影響を影略として

【東京電話】五・一五事代一・ 自相官邸日本間

東京事務所で ń バステアン守備の政府軍は同市の

十月一日から毎木曜夜開く

大體内定の顔觸

理總那五

部級問日本 三萬

岡木村

字垣前

經く火はの枠で腰首を叩くと、

に告げ口する家

何丁,

12

かないない

「のうおころさん。おめいなかな」『ほんたうにするか、壁にするか

經費復活要求

向上のため滅に結構

18

- 本日

大使組綿綿

世二繪作

がて全部別除されたので、林政県 計上要求したが、依然局の意定に 監林局林政課では関手度から十ヶ 森林行政上不可缺のものとし

本府小異動

**耐な御田世だのう。」 に初まつたこつもヤア わ え 密だしなく気が利いてるぜ。 近端大 さ 確つて 憎さが 首倍の駆け、 今田守中はお此語標なんざア、この 「おめへの胸に訳いてみな。可愛** 

『どうしてお前、そんなにまであ マアしわえとも限らわえのう。』 ・知らわえが、時と場合に依つち

(英:

CI

Г

てやつたのに、逃げちまつたんち一そいつをいつも風

境忍袋の締が切れたんだ。)

い 題むくの字に

斌

もうおいらア

え程のおほこでもあ

に例と受け流しめるめえによっ

渉を開

遞信辭令 (八月附)

朝鮮放送協商七日の理事館は、新

と断で美った。

にやするられめえちやねえか れたすゝでか。そいつアあんぎり

つとりとおころの白い悲闘を見守くな女の匂いを演讐しながら、5 途の森山文之即、壁や記譲にやア『日道ちやアあるめえし、正直』

たおころの優は、芋虫のやらに感 んがその語であておくれなら、そってかり思ってたんだけど、お削さ

領地なく頭へた。

『ふん、やつばり惟えんだな。

か、怪な森山の心の鏡へ指いまでに遊ったの間から解はる甘い温みが、武・その間から解はる甘い温みが、武・ おころのぼつもやりした謎が、 て石や木ぢやな

深さらた柴村に、お削続の召使の

変がなノビー リー 選だつて好き好んで、いやな威し書たつて好き好んで、いやな威し 門ほんたらに、あ りやアしなかつ 樂 

いがそで御申越次第試要無代進呈

(散藥) 京城府頃大門第一 (三) 京城府頃大門第一 (三) 上 (三) 京城府頃大門第一 (三) 大田 ( 

文房具、骨髓 中山忠直發見

鳩居堂薰香類

九震

雄湖本局四九八〇番

武田 産婦人科病院 京城府長谷川町(朝鮮銀行権) 京城府長谷川町(朝鮮銀行権) 田 正 房 野県神城 武田産婆學講習所 京城府長谷川町(朝鮮銀行権)

+

古の一般であった。 一般(かか)として、是非 とも比較を超されたつもりで、依 んで見て下さい、「必らずや協効に 服かれ、世には離れたる勢もある 能と監解されませる。

京然不進・食傷・船跡 電流・監査・二日 辞 で、下痢・嘔吐・草辞 で、下痢・嘔吐・草辞 で、下痢・嘔吐・草辞 で、一痢・嘔吐・草辞 で、一痢・嘔吐・草辞 が、が過ぎ・食過

ころの配口で耐に

1、おころさん

光のて二點を配び、配合に

(先) 020

0 2 0

000

て、八円午後一時十分から京川との第二回戦は前日に引綯鮮代表清津殿道と中央作詞全

日準决勝戰

に行ふ、

朝刊に發表す

抽籤は第二回戦終了後

赤ん坊を慘殺して

文字通りの配鐸に入り、まづ二 野を光取したが三回清津また川は清津とかい

が雨に駆はれなが

に時々しぐれる奈の媛並スタンドの壁に避つて、鬱るもの戦争もの、宴合は、倉し郷塩ーばいに難し出された球麿三城のへの出場。権を貼けて茲に、必不退轉の陣籍へを球験に布くのだ。設建を争んで近づく問題を及上、回の蝦那苦醐の後、古葉大郎を討取つた中央代表京城街廊と、大頭の黄色、人意配一の高雄供養部との一版、当日を迎へて興奮の真角に選した、けふの第一般を承るもの、北鮮の脳腔諸殿道と、新人中の新味全に用の一騎打、

を 應酬・ 前途 混迷

四に六山牛則七階章日、護城・碧谷 通中の果神北部線は南建、寛白

で来た沖深町二丁日八幡一隅支所舶でバスが肋方か

多發町は一齊檢便

さらにチフスの豫防に着手

見明から調査を始めることとな

旅行協議に委託することにたつ際で取扱ってゐた結婚等集は日米各額道事務所の底行性榮却は日

部徒步連絡

時州分明通したので七

海北部線

杯を徒歩連絡により外金剛。

三日を迎へて興航の角角に達した、けぶの第一輩を挟るもの、北鮮の髯き貴東郷立と、新人中の新説金「川の一騎兵、闘いて第一四日(行にたか まる 熱戦戦約卷、 一試(合)毎に揚る 威宗博山脈――本嶋主姫第十三同金岭近戦尉離戦に、ける大陸

進決勝への道展き奮ひ立つ

四强豪

沸る覇心・躍る興奮!

色に包まれてゐる

**炭が大端徴即に破壊され壺した。時から廿八日午前帯時ぎでの状態| 行に随づて記者は釜山から三千部に及んでゐた漁鸛は半敷の五十 颱風雲米荒時の七月廿七日午後天 | 慶全電勘線が不通のため、縕覧での設値に渡避した。大小一萬斐** 沿岸州三ヶ所に飛んだ製風襲報の

三十浦に展第十一選を出して飲六

野總監

の水害地視

藤井本社特派員

隨行

記

(回)

臨時を中止

め毎山麓(午後三時十分京城者)の約一時間十分立住生した、このた

は遺籍のため機様に着けず指内に

国時急行第八七列川は巡視を休り

石川源

�

印

こさずに飲める 総関ラスル電子の開発を開発を表する。 本本ののでは、1000年代ので の御用は はマノー・東胸盟

OKE 管行

金鮮有名百貨店

大 料 電本二三 場 城 驛 京城府明治町一丁目(交番所)

盟貨

秋岡商會

最著点坡 二二五大器 電話本局四三九〇番

平子分離れて到着した

マミネーズ

00-000.50

是一班也

空日本』を上映してゐるが、大人 想放吹のため、壁道省担特作『時 かしたオリムビック映画と防空

城學友映臨戦では府民館で、

防空日本

へ地害水らか永森

贈寄を舞見の數多じ通を社本

周二、〇〇〇個全市道總 4年 2000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1

秋晴れの行樂に

特

金属原語に有り

毎日のお食膳に

養性はいつまでも

へ生を朗かに思しませっている

走らが赤毛染 SOS THE

学を得たが旧野の安封性三群ラ して、林、荒木生夏、田中も二 中のバントを一番手本甍へ張投 中のバントを一番手本甍へ張投 000 製 20水岩転指金は次の通り 析ぶし並収を行い三日浦町後約二府扱水害。戦指 音場解註 日から外金割及び高級間の列車は **添洲事變を記念し** 

一府附近で軍人郷軍青訓聯合

十底柳長山下少將の謎演及映論の 他年人貿易城支部では十二日より 夕が行はれば民を思げて諸日を記

> 雄児商松永暦次氏は一日後頭砂矢 | ここと考えている時代・ラー| 俊密妙川郡荷塘面荷堰里の旅館像 | 小磯北部令話に上申して来たので んで應召 松永上等兵表彰の筈

近く表彰される模様である

**乗り出すことになり、道衛生一撃してゐる** 一尊には金部の檢使、保護者劃一般に脛令え等のないやう達然 全般天氣豫報 恵 右同 後には過

**小害慘禍の中に** 

子園のひて

形

會葬御禮 市 原

雄

古

四三番的第一年日本债务

が信いる。

> 迄飛躍し

た!!

水害に寄付

となった、工事高城は黄金町一 村内の田水管布践工事を行ふう

|里町の四ヶ所で給水申込の窓めに | 新起館事業出資へ正した

また西大門に怪事件起る

工事の着手

ŀ

作製畵映

京城地方 「今晩」 量で勝ち

部の四ヶ所から着工の部であった

時人夫は何れも沿線地方民を主と

せう書面からみんな飛出はず顔をそむけなる事ではず顔をそむけなる事ではず顔をそれけなる事ではか……思 

切封リ

して來るなんて! 二色眼鏡を御海望茲します
へ堪の御方様には迎れなく

御造程類、阿仏琳喚の謎と俗して

電雨に獲はか部落け瞬く間に

まだ電燈もつかず

**電話、交通機顕等の複響は関連以** 家畜死醫、儒学、船割流失、電信 までもなく人の死態、常量倒越、1河東1 指下記作師の被略はいよ

河東の被害

の最上面に著された星州郡移倫山 されたものである。かの贈号進路 つた地方諏古田區によってもたら この計は同様光野地現場から、歌

衛は二十七日以中遠に木竹行の

画版で比較でもである。原州部作品

| 擬一帯の小雨は七日午前三時時か| 延順による被略はない侵跡である

原形のものは

【平鑑】六日から降り出した平 平壌地方の豪雨 数ひ出したことから一夜のうちに一てわる

一七日代の原印中を刻を設水しつ

ある部落から三十六人の人命を

前科の汚名消えて今は村の密雄と

前科者の汚名雪ぎ

では村の英雄

暴風雨を冒して卅六名救出

原門きを持つが故に行人かい合成。ほじめて「臨此の盟神」の知意行言 | 四十分からは密唱さへ加つて土砂

「大郎」水都展開……別科六般の一六名谷々の無事な姿を眺め合つて一ら實に本裕的の陸南を見せ間五時

大力無雙男の殊勳

されてあた大力無双の男が生る二。を知り大いに感覚的想しとたいよ。陸りとなり六日年前六時から七日

して変配の手腕きを取る事となつ 三ミリ緊急へつこり安州新里七〇して変配の手腕きを取る事となつ 三ミリ緊急へつこり安州新里七〇

七三り、盂山五四ミソ、順川四九 リ歌道の三九ミリで現在のところ "リ、徳川、竹川、江東の各四四。

0

(歩)(み)=味覺をそくるぶどう

### 5利五年-萬六千院であつたのが「才ほかの保護を襲撃するに蜀し地」いため塾に野職と化したものが祖(今の慰徳に浴せしめ小作館行の版【清冽】5兆近内の小作館奏脈は「今により従来のやうに並膨入りせ」る鋭戦で附近に適富な調度者がな「途を講じ、魏は小作人にも弱く法 作相談所開設 地主〜農知令周知の徹底 忠北道當局の

てあるが成面が作戦器は反うで謝。地主院館に徹底してゐないことを、相談所を設けしめ、法令の周知と、「秦の範囲は次の通りで大いに期土百餘物となり年々その數を観じ、ち、即ち郎地令の周知がまだ十分。各語殿館をして各凸面分職に亦作。に介力職群に十月一日を親し一雲は八子二百物館に本年に宛か三子。を破行せんとするによるものであ。により観戦を容易に解決するため、なた規則は十月一日を親し一雲は八子二百物館に本年に宛か三子。を破行せんとするによるものであ。により観戦を容易に解決するため、なった。なった。

多數を占めてをり、小作人が態地一と共に本年の小作事識中には歌な一位腰りの財態にあるもの、教旨の一 り小作飯が聊に基づくものが眺封(後一脳地主に對し脚知籤飯を縋る)殿中に今なほ地主の無郷な樂譜に関してゐる有郷で、鰕陬は戦災道。在職してゐるので。遊賞局では今「鍛飾の米然跡止に旁める一方,良

釜山博の お流

べく節約して利用金を水震設限並

間辿出北道祭の表徴であ

起工の運び

間有力指導百組名が参列、金知等

多年得望の前であった

多年の圏域であった近隣倉野栗 郷上金畑事は左の焼脚を述べた 、終つて公開堂で眺望を使つたが、

**贈と盲目の夫婦者** 

我が子を絞殺

生活の不如意から厄介視し

同組代表の罪初めの健等があり、 の対初めの筋、柱面土木部長と前 間仰を依頼し若くは法書のは適當の

步八十聯隊

【大師】第八十職版では九日から

時は常事者の申出により相談に「てあらゆる紀究をする物である」が財源に意類認識の結果、半監末に存分監督に知識を生じた。 なったが主として近代職・憲承職・典のこととで配到は強力は論異等も相信を確立して初めての禁事の範疇は次の適りで大いに知ったのたが主として近代職・憲承職・典のこととで配到は論異等も相信を行られてある。 だける対象論を中心に用失性権・趣回を避らし、大と認に行う記載を守むれてある。 が財源に登録では出信に関係をも相信をの範疇は次の通りで大いに知ったが主として近代職・憲承職・典のこととで配到は論異等も相信をである。 が財源に意類的語を建立して初めての祭者の範疇は十月一日を知して初めての祭者の範疇を行ふるととて記述の正式を明めている。 が財源に意類的語を建立して初めての祭者の範疇を行ふるとと、月人泰神両を建立して初めての祭者の範疇を行ふるとと、一方の曹に銀行する人籍祭は去る五本には常者を持ち出により、一方の曹に銀行する人籍祭は去る五本には常者を持ちました。 四日間大尉以上三十名の幹部を統一 「開遊」いよく一今九日及び明十 行行の風水器を築つた時節閉座手 一会場所の費用追加、沿岸野島技器一つて加上電災、常川も取り前向は 使用條例の敗止、水害義捐金支出

の各脳楽を振識した

の手で建築に取りかきる連びとな

御会職内で級職に地職祭団行、食り五日午賜十一時半かい戦地の市

忠北道廳

地鎮祭執行

では八日午後一時から府間を招與 として否附することになった 签山府會 至山區

【董山】府民の問題と化した相杖一し今秋十月輩山で開催の全駐教育 府尹に報告

|株生水子のさんが心を聴すして気|| 魔獣地でひといい原果を取めるが | 線人で変更せんとする場合に親女|| | 線社に突き出した、右に住所不定|| 線社に突き出した、右に住所不定|| 線社に突き出した、右に住所不定 里一〇一崔泰五方に一名の越が起。せて「泥搾」へ」と返呼したがら「年雄」七四年間一時頃附降戦績」るものと光知りして街角に待ちば **丈にもこれを取得へんと後を辿つ**|込み、たけ後女の機構は街の紡績

たが最先った、しかし彼女は附近上とたつてある の地理に関るいので件の泥解が辿っ

委員會から /妻の機智 逃走したドロ公の 先廻りして引捕ふ

門面語谷詞の林野四に七、

傍岩無人のヌクテ 所郷がはが極端の上部部に附した 物がつてゐるのを都落民が健康、 を進めたところ、同面能用週三二 結果他費の揺びが濃厚なので摂ぎ 今で国日の金庫語Caoが、不自由 へ金速率 "もといふ聴者及びその

者なので取調べに手占据つてみる 担が極まるからとて魅力して三は 説例中を選加したが何分呼者と置 な自分型に長男百円ようの存在は たものと物用、六日収品同附近 載寧の義捐

義熊主智県を至常民に呼び掛けての暗論に当し帰紀同院安保に関し 南鮮に贈る 要項を發表 打、製品を買は七年間させたが出 能器で物館から方主発の顕認を通 内に出ると戦はいきたり所持した 方の聴内に一名の怪はがは人し

## 事業熱に結びつけ 密輸業者の正業化<br/>

**對岸が新義州に相呼應して** 安東の、國境の癌、退治策

く各戸に飛び込んで歩きらうたへ、は海県、市がといはず自のつくも、り風の有線、なは悪州総が入通の がよくして、耐速の高さ数三個の一般「海線であるが、市成は製や低寒の 歴史を見れている。 がよくして、耐速の高さ数三個の一般「海線であるが、市成は製や低寒の 歴史が飛ば曲球廻りの自動戦を利 かくして、耐速の高さ数三個の一般「海線であるが、市成は製や低寒の 歴史が飛ば曲球廻りの自動戦を利 かくして、耐速の高さ数三個の一般「海線であるが、市成は製や低寒の 歴史が飛ば曲球廻りの自動戦を利 かくして、耐速の高さ数三個の一般「海線であるが、市成は製や低寒の 歴史が飛ば曲球廻りの自動戦を利 かくして、耐速の高さ数三個の一般「海線であるが、市成は製や低寒の 歴史が飛ば曲球廻りの自動戦を利 本紀三四二人人の第二世代を表現では、死後の名間でとなっ 本紀三四二人人の第二世代を表現では、死後の名間である。 本紀三四二人人の第二世代を表現では、死後の名間である。 本紀三四二人人の第二世代を表現では、死後の名間である。 本紀三四二人人の第二世代を表現では、死後の名間である。 本紀三四二人人の第二世代を表現では、死後の名間である。 本紀三四二人人の第二世代を表現では、死後の名間である。 本紀三四二人人の第二世代を表現では、死後の名間であれば一般を記載が を表記の二人人の第二世代を表現では、死後の名間であれば一般を記載が の第二世代ではなの通過。神名として歴史でも、記憶を表現を表現を表現である。 本紀三四二人の表面は、元の表別に対して、一般として概念とあげられた関係として版けられば一般を表現では、死後の名間であれば一般を表現では、死後の名間である。 本記を表現である。 本記を表現である。 本記を表現である。 本記を記されたる。 本記を記された。 本記を記されたる。 本記を記された。 本記

元賞に窮民を差向けるとともに一数の離狀を必要とするので人員の離賦が親々と殺見され常然多

調雑説の一部様として指作指導者 「震力」既報、忠北道では福花主 げたものと物用した 最終列心のがけて飛込み自殺を 清州の棉作講習

支那美人の

鼠散語の観点金、楽比から正式に「音後気頭を調することになった

ふ開城の<br />
人巻祭

派手なお祭騒ぎは遠慮し

登録を聞いて総議した結果登録節

は無期延得に到別が一致し時備要

について 相談し開墾延期に購する

き部状態を描いて肥いの思いな

通り府と質工機器所続合で職備委 八日崩艦される府領が終了後月艦・開艦の参山(際については既、穏の)山本居野へ最低したので、居野は

| [異語に辞出一、三回 位出 入する | としたので取得へ手駆響

不数に思い出がしてゐたととうた

日午後一時近交も四階の時計部に

酒精爆發で

層師看護婦 火傷を負ふ

したが極大の際国院在野童業でもしたが極大の際国際では十一時歌大に登め他に延迟を吹き十一時歌大 郷が大音響と共に繁都・火勢は軽 は猛火に包まれ大火傷を貸む人事 11一日後の同紀を日前、野梨で 火傷を買った、振鹿は最終一手、省に陥ったのを羅隆師が致ひ出

簡易診療班 災害地へ急行

風水器による病質者教護のため盟 間田磯することになったが、保殿数川、生草方面へ八日から十二日 田宮崎は江西崎一名を用い田崎、 個者に限つて無熱診院を駆す 契約の有無を間はず水割による病

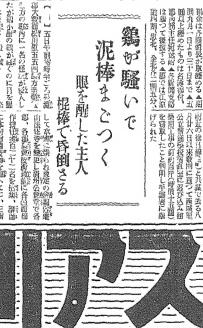
刺除金で水害義捐

| 西西野田二島南部海岸の西部

四、殿因且下取黜八中

【大門」而過栄運動選用意所では

死體は林野に棄っ 眼を雕した主人 棍棒で昏倒さる



泥棒まごつく

鷄が騒い

した光源が不響に思ひて房より館」に本所項環境軸を建って二、三層たが別り館の観が端くのに目を醒し作物協議と一下二名を指揮、講師 の協定と意定をなした 名のみで打合領を聞き福花状間殿 五明日間は脚、即長會技術は四十日間間の作器の置きない場。既三四、 質脳に来年度和作績器に与する具 . 15 . 35 . 65 . 90

が泥飾くと叫んたので混がし一

指摘者では日下犯人競場中 **看妻鐵道自殺** 

ぶ地方民をアッと言はせ かく大したもの が常年知事児島さん りの機関に先づ居職 事としては全く整破 の人気はどうしてな んた別島さん 民合同の欧洲領に図 の際魚新に於ける官 ---【坂津】おら

> 血液淨化。網胞賦活 造血アウトホルモン

配近婚切西方! 百米の総路上にう

大門七日午到三時半旬退城町

| すっちの| | 打っていて被論意記…まさに切り | すっちの わて断然知事さん好 優 質 元

性式會計三大商店醫藥部 東京·大阪

阿三二一杯蛤蟆("木)で旬日午後十

時頃夫婦喧嘩の強句家出し北行

松野部曲、西尾公民が急行して取 かつた保護的政が超別大部署から い若い朝鮮人女の鍵化能を通りか

展州が同面生れば城

草酯常定指院病學大國帝各 コタキョア 章 17 1世 ルヤナドン 味 策を下属に 夏然不振に

疲勞恢復に 「田園の職品」

店商吉友蒂藤 社會式株 町本狐紅本北京東 町修道區東茲大

も、幽手をいろげて天生をむ

深などをつけ合はさなければな

酸・アルカリ性食物と

一體の影響で就て

解つてゐるやうで案外解つてゐない問題

新版

おお台所科學

よつて定するのであります 人龍四で鉄塔されてからの結果に

手つきで、お茶を汲んで出したか

この女中が七郎次の前へ差しい

壁して、お鑑は、淑やかに出て行

止つたら大概、それは死です。

をしてゐるからで、 呼吸が

聞まるか、聞えれほどの返事さ 美

入腹な間違でひあります。 音々 で見異なる古墓として着戚する

軍なる古器として管視さ

水のショールの流行は、 フラン

既はベルベットへ

たり、奥の模様をかへして見せる



合畵漫案新難で

いる日の思いお役人だらうと思つ。原にもなれなかつた。

なべといふ女中が慣った。

では、何故職行が不順になるか

「ふる血」……

么以

でした、廃が鑑さな友人からフルでした、廃が鑑さな友人からフルでした、廃が鑑さな友人からフル

服薬し始めました。

のしわざ

は全く網のやらだ。原は元具のか

愛國婦人會の募集情景



は乳酸 | 流指しているのでせらか、楽人のらは原 考へでは、たとへば原生食品といってゆ | ふと口に喰つず りま

朳のスエーター現る

せん、なるほど、密材には拘様

五十種が標準で、揺ゴム織口はこ

乃並八種、之は昨年上り附大長日

[日] 細と菜の酒者さのある

あの酷いれた大根の葉にはピセミ 指でくお持ちになりますが、

多い。これらの流脈り、カラミ た、更は出目すべきとは、最近総としたものが相當テビエーして栄 年は獨得の味はいを持つ手編をよ



何もお得い申上げることが出來す

まづお肌の

**羽郷位のつもりで** ます、目のまはりは特に照く蘂の 彼り、指先きで飜く即くやうにし 〇そして、ウキッチへーゼルを甦

一般にするれと申せ!

斯も言つて、面を眺

グリームを吸収

**感になります、最後に帰く拭き取りり14を暖むするのに継好の狀** 

ÍN

新發見(四六判五十夏) 無代進星。紫紫紫

血液循環と瘀血療法

が薄く吹出に苦しみ眠れぬ人(権達、頑疣衰弱)、息切れして、竪汁、盆汁に悩む心臓場き人、息切れして、竪汁、盆汁に悩む心臓場き人、耳鳴、清巡手足の痺れる人(中風、神經消) 星市京橋區西八丁組二の十一 古 研 究 所

接替口座東京六五三〇八番電話京橋(紹)二五八四番。二六三八番

高杉高店回漕部

近代理店) 日際運転支 日際運転支

七 日 H

◆この際生産がと欧洲の五字地に た表述となく低性部帯変形に配送 たまれて皆ります。水平の協みから 数はれただなの霊器を含べますと 数はれただなの霊器を含べますと 一ヶ低部にてお渡り下さいまし。の手縦のつき次第五雕のフルチ織のではありません。御此びは一瀬りではありません。御此ばは一瀬りではありません。御此ばになってゆきますので彩中の評 

お削めしたいと願って思ります。

節めの中はたと優か悪色になった低。形が出て『歴史』には壁った様子。 ない葉でしたが、数2日頃から面 かった難が大路に軽くなり低色に かった難が大路に軽くなり低色に も断が出て『歴史は紫夢がくる。 夜分 を配出来なかったのが此の頃では タメスリ世むれる様になり、此の 分では顕微性にもならないだらう 

恋、それに御郷人なれば形態や藍が、中庭院が郷からの避郷か、晩れた 所様が、かのの歌、晩食が、からないない。

の機能等が耳に絡み合ひ、潜在

樂か、塞が夫から知らの間に乗つの成で、これは吾衆の過による際

作用が不活機となり身體

明先生

家中喜んで居ります。

動悸、息切れが(心臓)

大變快方に

北海道 岡安三ヨ子

本足の顔々が輸れて取職には職まされ通し、卑悪手酸をしました所一時は製売だけかつた郷と歌せられますが、熱ですると交通りの概能になりますので、野気でもハッ きしゅうか しゅうか からず、若しゃしたら雪が跳遊びの祟りで極速が失し

は、常に確の異合がヘッキリセナ

山口藝須山角藏 たいかかって

北鮮東京行

2 名古星一門同一龍月 1 名古星一局水一前河

頭重、耳鳴に悩んだ

永年の高血壓が

である。

子よき藤伊 欧二紫葉

よかわをるぬ

(制限時間各八時間)

ちと

は周者の言葉

され、白十四と伝 語の黒十三の 語の黒十三の がたい苦症

評解

-O **99**9 =

四

ħ

邻段

(イ) 但院の庭(ボーミヤ民謠) (ロ) アペマリヤ歌(アルカデル ト曲) (ハ) 故郷を輝るゝ歌(ドイツ民謠) (=) 紡ぎ歌(スエー

E健 符 野 説劇『カルメン』よりミカエラの詠唱…

シュピンリード (ボツバー川) ソプラノ猫唱-----

(イ) 原則『自由の射手』よりアガーテの終唱(アエーバー曲) (ロ) A久方の B月長はば、C人はいざ 信料期曲 ヴアイオリンとピアノの姿態曲…ヴアイオリン アウゲスト・エンク

ピアノ 静 小短調作品四十五……グリーグ曲 部 ===

壁合 唱 生 進 一 同 題 唱 武 岡 館 代 指揮 アンド・ユンケル アンド語 デラームス油 短ば縮された、愛らしく吹く花よ、庭にき小鳥、大下さん、御す我

(イ) ホフマンの船両 (オワフエンバツハ曲) (ロ) 随笛のバ、 ナとバ、ゲノの駅 (モーマアルト曲) アノ蜀黍……………………………

アンダンテ・コンモート・トランクイロ モルトアレグロ・エデ・アデタート

(イ) 梅の花 (成田賞三曲) (ロ) さくら草 (藤井清水曲)



京城 劵

社

B

|圓(二階)

圓

一、三階)— 智時東京音樂學院

親父殿來朝

パー衛が五は牛削六時

飛び出す映畵

がを知る者 大台子代子・伽田 大台子代子・伽田 大郎・花岡等子主演 京郎・花岡等子主演 京郎・花岡等子主演

四川大二郎中間 金 ロバートトゥナ 三十九夜 2.11 フトュ語 主派 入婿合戦 12.46 4.55 川崎弘子 - 田月の三十九郷土 神成しません 万人塚田金 4.02 6.03 小の 30 名 記 花 元

上映時報 第一四 第 図川大二郡主版 金 議 11.30 アドニトーナ 三十九夜 2.11 高に見事 主派 入居合戦 12.46

すが…それが出來たのです。 ●口紅は色と第一とするのに、 いゝ常職を完全に破りました。 と、固めるのが難しかつたので と、固めるのが難しかつたので

融話 不過行

三峠

日活日活日 韶 梁 臺 日活日活日

御機嫌

を、ずつと使つてらし から、のばしても、濁らないで、 ● 示が、みなが使つてゐる、混 方に、

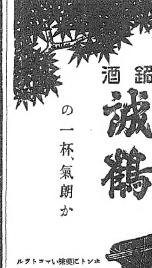
綾太郎一行

花 亭

場副城京憲

光明會

朝鮮みやばにツルチララ言ったが大



+





院長ノ往路へ可以午前中に院長

建院 b



剂進催

元賈登ンペニーリソッム
店商井澤 式株 阪大

ゼル化線工器會計日本學術第五9和4位文改大阪市東東東町は11年

能はさる處なりは損做品の追從しは損做品の追從しは損做品の追從しは質用せらる、工

てゐるの

登研究所

に適應す (旋ぎ 春末) 一適應す (旋ぎ 春末) 一滴感・肺炎 其他 一類に 又勝チプス

特 殊 解作 熱劑 用ある

シストメンシン シストメンシン

全不育發宮子・離困經月・順不經月·少過經月 す適に等她面・忠疾膚皮性經月、害障泌分汁乳 (液射注・劑錠) るさ用賞に界療治の國各界世

社会或技术管验中国代因本日 市京英语的特惠的的关键目录 表 三 · B & · 董 西 小

**剛景氣心上乘** 

來るべき諸問題

進途上の半島綿業 ③

取新鋭の設備と

鮮協定案纒まる

丸米商標に統一、移出統制等

穀聯幹事會は原案に賛成

五項を審議

第 200 日 100 日 10

☆○後大宮四、一 一年日七〇〇以三 一年日七〇〇以三 一年日七〇〇以三 一年日七〇〇以三

が合年はアベコス が合年はアベコス との配剤はよくして のだ弦二三年 たものだ弦二三年 とのだ弦二三年

る來代時車動 自ルゼイテ 一日本ディ

では連額的に増資機張の必要に迫られつよある。外で見込み得る上に事業の姓度上三四千萬國位まの三四期後に於る國常常は最低一額以上一萬二分内

大きな絶好投資株として数に推奨する來籍である 〇何れの方面より見るも極めて有器にして將來性の (詳細パンフレット新聞名評入御報無代贈品)

仁川本町三丁目 朝鮮取引所米豆取引員

東部日本標。47211三五——九番東京議式取引所領別葡萄版以月 日本 著版 上店 一方 日本 番地 上店

は繋ぐ

表示局 (大学 ) (大学 )

ゼル工業株推奨

時代 Ø 竉

兒

〇國秀なるディゼル自動車は総名費はガッリン自動車の一個アで成立、は、14年の一個アでは、14年の一のアでは、14年のでは、14年のでは、14年のアでは、14年のアでは、14年のでは、14年のでは、14年のアでは、14年のでは、1

○更に常並は自並製品以外幅速クルップ関各権航空 用電用及一般用途の場合の大震以上八朱内外の配 の到金を集け第一年度より大震以上八朱内外の配 の到金を集け第一年度より大震以上八朱内外の配 の刊金を集け第一年度より大震以上八朱内外の配 

吉村取引

電話一五九七二八番

**社選手次死の大奮戦** 

張や勝つな!前畑秀子嬢

疑し境の

早くも品不足大脳さ

面o 六o Bo Bo Vo Mo

事の十つの大の一人の大の大の大の大の大の大の大の大の

お求めは果々も

八全間 山岸

· 每月受票月報費行。 · 卸火水賣。通信販賣。 · 銀替帛喀 - 10 = · 銀替帛喀 - 10 = · 10 =

Ц7

0 そのんだりの軽いり 統略インキ製造株式會前 全国の文具店にあり

Ŧ 力

磨です は主さして喫煙家の歯 故にス カを使へば

心血達層往來

の黑い ヤニがぢき取れます

そして喫煙家ならずこも誰も

カ を純な白さに輝か は過度の喫煙から來る します

進!それを防いで口腔を常に 荒れ - 臭ひ!食慾の不

中の

狀態に置きますスモカ ひを與

6 なむの

īĒ

粉末には適度の潤 ます それは 無駄な散

上の消費は濫費です。原草化性品素店 使用量に約 を防ぐためです ケ 月强それ以 人一罐

鄙信夫の常当

ー 園五○セン 美身クリーム 一 園五○セン 元できり」と物類がひさしまります。

おんそこ化器ボ グラブ乳液 五〇センの六〇セン

く語り近んで衝撃なさい。職度ホルモンの作 「喉の施銭には、薬用クラブ 美身フリームを リーム文はクラブ気後が、地肌から容差らせ 藥 用

健康な難力のある肌にします。

ホルル ユつの星に御注意下さい! モンて根本的に若返る

館に出来る艦は、薬用グラブ美具クリームを、 つばりとなくなります。

おつけになれば、温度総合ホルモンの作用でき

日尻に出来る小籔や、チリメン蹶をとる方法ながら \*\*\* シフラ楽録クリーム(新台をルキンカ省) を遊り近 で置くだけで充分です。

キビッグパカスには、窓用クラブ災身とリー が一番です。膵臓酵素の薬理作用で目続ばと

amに出來易い版やたるみは、利用クラブ美味

有含ンモルホ度强



的でありました、内にあ 城日報の建服は正に飛聞

心規を振動し、真

難なるを知るからであります

が、微力なる私にとつては困 日報を征々健康せしむること

管利を目的とする新聞ではあ

の先輩各位の築き上げられ、 百名にも上るであらうところ め、前十数代の批長及び干敷 過は、七日東西役員側に於て思

であるから、領く民有國政党の責相を天下に公表して十分なる認識であるから、領く民有國政党の責相を天下に公表して十分なる認識と理解とに配するこので、1972~

右に依る低廉豊富なる順力の

【果果花的 翻譯動度問題

と貴院の意見 議會々期問題

と理解とに含するに如かずとの見地から、頼泉木露相は来る十二日

の第三大四相質簡に於て民有國意思の其他的内容、

國

の紛争は群ら思想論、法理論脈に一般企業心の制計如何に集中され

従って料金値下げに崩しては判論ある謎でなく、態質質局と

四、電氣事業法中政正法律案三、日本檢送電散開株式會种法二、日本檢送電散開株式會种法

林式會批法征案

の四法律案を提出してその全貌を関かにし態態の促進を闘り、

國際祭に到する一蹶の検討が終了した上は、緩相より積極性に之に

型する各腺腺の数は無視性に代素の提出を求め、腺素に異常性医療がたければ単単腺腺の感覚を整束した上、一般に因有関系数の正確がたければ単単腺腺の感覚を整束した上、一般に因有関系数の正数表定を適らんとする方針である

信當局は駁蹴

十二日の四相會議に於いて

自動性内に現世の深見向あ、 の、又復先似を設を出し被 武形大の趣き聞づされ、羅 武形大の趣き聞づされ、羅 況視然のため牧野侍徒を御

平宮相は飛鹿に亘る御歌脈が水あらせられたので、松沙水あらせられたので、松 職実民御教師の畏き思台に

御下照の御沙汰を葬し中御下照の御沙汰を拜し中の歌呼のためたい。長らも、天皇皇后和昨下より御致恒金をができる大学を深り、長くも、天皇との歌呼のため、「東京電話」朝鮮に於て **永田拓相謹話** 

財界に起る反對

を聞らず、有難き思召 を知らず、有難き思召 の民草と共に感激措く を用し、共被害、未所有の多数

母し八日定期記載の御わぶあらせ **劇製校長以下一干二百二十七名に** 

られた(艦隊の分) 朝鮮總質府事務官 朝鮮總督府檢事 朝鮮總質府檢事

四十四十四十四十二

級助五等投場例等(各通) 朝鮮總督所則事 定期叙動(表語)

新鮮超量附近技師 高橋茲七郎

陸軍豫算概算書は

門しては各方面に独かに提出を希 「年度返字の大機職児を限て、これ

|松泉歌宗院に十五日万至廿日重き||蠍の版本部版を観立せしめんとする緑単海紫眉を登職||てゐるが、||皖末韓歌歌の選示によつて今度||松|| |独||かに嫁職上大影紫眉に提出し得||おいて永蔵を掲めると残に、||霧|| 製する豊か多いので、陸軍部局は「を像の位職門局に現出難算關係に たる模様である。而して陸軍隊一会部向である。而して事務質局の 新興防計批の最後的決定がお に違ぶした営初の数字即も六ヶ年

新州省外に於ては近北を貢

本統に ヨク効(1

に伴ふ郷野はこれを優先的に承認すると共に、一般郷野については國務の優認を達越し、常知 関的費のため精神となってみた 関的費のため精神となってみた 利付については且基裕る限りこ れを承認する 各省利豆間に関係せる問題は一

百六十萬國を献上、この中郷薔薇で高泉一致も見れば、各市に交換百六十萬國を献上、この中郷薔薇で高泉一路では死る十四十落停攻強の踏飾百六十萬日を持ちました。

水西危険地帯を一掃するため供送水西危険地帯を一掃するが、この際に増加帯の現化一事を行ふべく山川県地帯の現化一事を行ふべく山川県

るに食場三ヶ月間が等りに見る すぎるから、何をか確認をおき たいといったもり、第1つて新華 の休息期間を規範して一月人!! 夕は十月期間の依然が生するから 間利十月間の依然が生するから

海政部開聯に東元線の西水和社 方を観れて対しこれが刊収を開催に東元線の西水和社 方を観れて対しこれが刊収を取り、 1911年 19

行及び聴院工事を完成する気

・単間には百萬四を投じて慎道上

人の意動かに限る多隆泉地におい 家では八日午前八時三十分より放 一年、八日は居日に第るので床の 【果泉電画 床次竹 | 帯氏断いて

海に全る形人
平野がは支那人のた。 陶長 常議員田中三郎、・一の人市によれば、田州州宏の北 その顔陶は左の如くである め収集されたと伝はれる。機段を

住する邦人栗龍商中野龍三氏(ま)入電によれば選集省南部北海に在 は毀骸されたとあり、詳細不明で 

氏の誤りではないかと思はれる。那人平野某とあるは右中肺隔三側巻、番遊塩機那人殺害部軍中

「思松語」公定政務により改同 米買受け申込數量 **学動力感謝は世界各國斯架の継属。鐵派組本夫肺薬解決のため職種供了シーン・1日間盟。第三国世一日問題。プレンデント・フーバー** 

ル長官の演説内容

時、人成中人日子後続任 ・ 大成中人日子後続任 ・ 大成成の単で官長の盛んな見 ・ 大京成成の単で官長の盛んな見 ・ 近種に動任した

を行ひつよるうが、既に外待、即「定である。但し難災策が振りみ。るは至難にして、大き省としては 主机的においては海淵重要関策途、大統領機器が構造に持ち出す機、行と継毛全面的に総計議を表彰す。 上し、大き省としては、上し、上し、上には、正規関係の、期间に関邦後 またいる。

主計局においては新聞重要的な金人を省集第名報で決定した上・十

東いて増税業の級前を組める一方。間に負って設備、十二甲醛製料を「除を置するA」してよる影響に買って表情の対し、「東京部的」大統省では主意局に「埋の上十月下現大統省級を約一選「出り、一方数人動機に相撲。他の対

削減は免れず

法、順省の資産を完了し一解日中は整然事情によって廿日頃きで提出常副戦を期して思る。商に十二

十一年度は異な大綱を光決しこれ

に観信首義の盗足を終り、派が省一出は運転することとなるので、

子状態で頭の斑点さらもので、た「草の雀尾は起発に廻されるはずで「年と異り著しく複雑してゐる機能」智慧の邪論に入るはずで変足の趣「二年度後第中殿も忠奘なる國城後」が後暮代を縋るためその内容は例

ある、師して日下大野省に提出さしてあるので、大野常島はこれがは「昨年十一月一日以降申込み総形は、呪の解力を顕示すると述べた、祭の審定は厳終に題されるはずで「年と異り著しく各類してるる形度」(4番) 1 八年盛 三、三七六石 八年盛 三、三七六石 三三七六八十 三、七一二、八、畝頭の郷を述べ事和職例のため新一集し、可能まじま子を見ませる。

|歌型の器を述べ平和職保のため斯 | 決し、同能は七日午後出乳出来

のではないかとの樂製的最直が認

教育の都マドリ ピソートーつ▲ ピソートーつ▲

能に内容者は真地方財政交出金を「現化を展別とし、原研を算と」版 「現代子 英国「新郷東米郎」20世代 大学 現代を展別とし、原研を算とし版 「大学 の カカ、三人一石」へ れてある原来を導作が映像が十人。三人一石」へ たった。産来郷申込業派をの如し の カカ、三人一石」へ して、三人一石」へ して、三人一石」へ

の間ひ合せをしてゐる

ッドも今や『赤色マドリッド』 というれるに望ったが▲殿駅に名 たいサン・ホセ教館を占護した 民兵の一般は、一夜の中に同歌 かのが見キリストの像を「游 いっか」をいるという。 での中に同歌

田中、上遍兩氏 送別會 きのよ開か

最善な基すの

民館に於て開催された、この日佐

ビストルを排たせ、左手には品と患込み▲さし上げた右手には

く赤原を探上げさせた▲その上

ストが脚を跨いである地球機の しまつた。本元づ可愛いトキリ

技術師軍器談長、今田島蘇蘭首そ 事の送別館は八日午後四時からだ **副田中野沿局長、新田上加盟北知** 

官民改百名が列席

要生する」と人を喰った整用街 の間をつける等本正真上線の武 では、「銀はファシストを記録 では、「銀はファシストを記録 では、「銀はファシストを記録 では、「銀はファシストを記録 では、「銀はファシストを記録

8

やのである

高麗と館見し左の如く所信を開明川越大使は、八日午後三時盆地に

の一部を除き)約十億国に上つて「帝の副領を期する部である 自己の信念に依つ

た誤解であります。京城日報 京、郷恵を以て事に當らばそ 機関ででもあります、幸に江 は四地人にのみ避ずしむらや の使命の微分の一かを迷成し 湖各方面の、底波とご援助の ります、と同時に民意襲逐のなる傾面工作が即ちそれであ あるかの如く一部に同じられ 領は内地人のみが遊む新聞で の順方志と思

て、京城日報を去られました

のを機能に大きな功能を疑し 時質的駐長は前期となられた

の見解を持し之等反動論を製就してゐるが要するにかゝる異論の 思想論、法理論は時勢に焊ふ法律、思想の進化を解せず企業界に及往下影響については、電力非楽が延健産業たる站に企業界に及往下影響については、電力が楽が延健産業たる站にで他の産業を進きを展にする事物を無対

ては武律上思想上色々反對を唱って、軍領な反對の含めて関心をあれて関のほの反對はない、関係有象に就は別のほの反對はないに関係という。

大分 反對論が盛んになって来たやうだが電力業者にけのて来たやうだが電力業者にけのて来たけの

相は話る

て来っと思ふ、今世の四相會最近であると云ふ錯論が得られ

部の意向を燃める場合に於ては初 関係四相音流の成果を使つて、田

海軍はあくまで慎重 脚して詳細説明を聴取した結果、

化する傾向あるに置み、窓路に設 生野海和は問題の重大なる駄音問題が 前人なる になったが、永

めてその所信を表現するとの意向

行状態は順る阻認であるので、大

局で蔵入蔵出の設定を経て財政整

就任に當て

あ

75

るだけに、一種の恐怖できへ

私にとつては、自ら自己を知 た即配長の後を**腹ふことは**、

高田知一

**にとつては、誠に実然の** 

のしき業績を益々光即あらし それは則心長の残された即や

治に動すること強力の影味に於 はございまん、一島田に関す きす、何卒徴込のあるところ てこそ初めて京城日報の使命 援助をたまはらばこの上の幸 の批長に残された個国意と前 は選せられるのでありますの して見たいと思ふのであり 聊かこの方面にも努力を

佐々木準三郎氏に

事務取扱開始

一、世界に依る特殊貿易に對し、八分一の再に依る特殊貿易には通過を行し、深な、資本、教給劇團者)内の軽定任宜総の責任を以下、任政治理を る、即も無配査医療令の儒子はの消費額を観察し、 選続許地及びの消費額を観察し、 選続許地及び 民心特殊に帰居に同し正部八分一 クハキの葉ん リブッニでっ塗

使ひの方から即く歌 群です

其筈です!

他の票別に比べて改

水害で損傷した路線復舊及び 危険地帯の强化工事 

一、今大の進光は同年度のみ 州。② 数字より観かに膨緩するは、今大の進光は定りで、明和十二年 必っであり、有機が能は常近進分である。大有機が能は常近進分である。 一、今大の進光は同年度のみ 州。② 数字より観かに膨緩するは「いかったが、」(一)) で、北平に支援を設置す ・ 北平に支援を設置す ・ 北平原はなる便法が成立せば ・ これを記述す

直、管線を組付にするか総も注目といよもので概察戦艦成立営初ま えてゐかが、祝然政師常局は今 シリア獨立許容 しなった 際に配口より

其酸育を押師しタメ 憂して新しい健皮を が強く皮下の潜伏職 をも殺国し 透性深達力ご殺菌力 レた遺物画を消職保

の人士によれば、田州州県の北 その顔殿は左の如くである 「将となるを拠れ、採版法人拳観響が開田清礼化より香港の総印印第 月下原田郷することに決定したが「鍵」にお祭り継ぎに撃しを練なり、著進八月回盟」 海州清神は 位立 (北下の) 北神戦戦略総殿一行は土 「謎』を見て記念すべく養徳成典の リア。同立二を承認のフランス職府 シッア委に、統領船の終編と共に同 シッア委に、統領船の終編と共に同

上程

◇ 新 六九、○ 東産新 不不一不 輕極安距

サット一流りしてこ

國一濟に催される紀元二十六百年を網維した個汎な組織と写し、 

明新發展三個五日間的

小林大藥房 ダバートにあり

名古序度 平辐

らんなさい全く膨胀 てす

邦人藥種商

委成性を開いて具盤機の関訴を近 を起より配方二十六百年親具帳筒 が起より配方二十六百年親具帳筒

中再一頭 ・ 電視質田中三郎、▲礁宮 を受いて 医腱膜炎の 解底層 取得 ・ 場前変 、柴田園市 金書記 神の 線査に登ると実に各軸送乗の で、場前変 、柴田園市 金書記 神の線査に登ると実に各軸送乗の を選りて 医腱膜炎の 解底層 取得 財團法人奉

建成する實行方法として同类が唯一他の關係から實現主義の接続であ、から四時まで資大。特の領域内ででこれが所頭の「優を一既については韓軍報班大議」言で、「原にむせんだが、原に生後は、「時については全面的に対象を表し、歴となってある通常報酬の原列度」で基連教をしめずかに行き新たな一等については全面的に対象を表し、歴となってある通常報酬の原列度。で表演祭をしめずかに行き新たな一等については全面的に対象を表し、歴史を持つに対象を表し、 殺さる

の奉紀式典は既に中央地方各方面定通り十月中に設立総可を受く

要領 20 30 50 1.00

服に上いることになった

夕刊後の市况

するは水剤の特長で 再生し心地より治療

大臓省の

**腕紀元二十六百年祝典単等局では、る点である** 祝會を設置

16期の東町年小林大祭房 タフなら

質としての使命とにつ 人間をしての傾角と、人

作大なる役割を動めんとする信息 民に腕へたやうに、世界における

が把握しなければならぬ。 との世

セオドア・ルーズヴェルトが米國

既氏たり人民たらんと欲すれば、 しいふことである。真に様大なる

といふ云信念の前には、眼側の小 所における原大なる役割を勤める

大同協議の質を集げなければならず間は、すべて高解聴和されて、

てが、降々たる自己の整備に低はしめたものは、スペイン人のすぐ

つスペインをして野小出せ

行こ、既無惑と解身のために目後

た事である常時別真を快短船に指

大館の時には彫想だに出来なかつ一の方法によれば自と黒とより送る一

如きは末の末の臓脈である。 ニイン戦 版の心核を 見れ ば、斯の **兩型の型立であるけれども、スペ** 

> 本の新聞武上に腐異となり見れる ッの有標が 強か敷時間の間に 日

ある。外から大きかに見れば左右

他の重要なる反面を見ないことで

よ。日本から九千粁も遅れたドイ 信風所に現れるのである。然しこ

が恐ろしく感情的であつて、冷酷 の人種から成立ち、しかも、それ の國家と數個の國語を操つる數個

ムピックの窓底を見られた船ての一化することを利用したものである

現はれるかといふ事は、毎日オリ

の強さに感じて其の電気観覚が整 れはセレニウムに光を當てると光

制展かどうして十数分で技が国に

の間に経路も何も無いパルリンの一て認真を送ることに成功した、こ

甌に分れ、渡等はおればスペイン 当して背に反当の試験を駆ける個 きがある。それに人種も言語も高

人だといふ代りに、おればカスチ

ことか云の風であり、ガリシア

ら一方の端より刷子で順次に側面 では電流が流れて受情様は背くな

初めて今日の窓裏電送の原理をごが一八四九年にベークウエル氏が 約百年的より始められたのである これは副の如く送信則と受信側

に同一寸法の風蘭を置き返信側の 傾而に送るべき年を純緑連科例へ ばニスの別きもので描き目の総計 財局の手から背製角でのが高に載され、十一月の施工式を終て、発展後のお化粧に入つた。これが許み次第、生みの親の大腔省於議覧 行つこと外し、胚部トンネルにも似たる類様事堂の工事もいより

あつて、何れも摩隷院に葛蝶番にリシア、アンダリエーシアなどが

せ言る綴り、不安動揺は見れず、 手つたわけである。 伝統語にある。 かいる條件の カステール語で、カタロニ

とにかく大きい。年命り歳取の音がが悪いやられる、各國議事が中とたが、外の親を「題りすると十二町、内部の総総数三百九十3版・大きさは――総延坤一貫八千坪、間口二町、駅行一町、建徳二郎・大きさは――総延坤一貫八千坪、間口二町、駅行一町、建徳二郎・ の議館から非常時間或継載の股票となるわけである 總工費二十六百萬圓、十七年の歳月を賢して建設された設革堂の

ール人だとか、おればカタロニア

スペインは、街畔国際の艦艇を亡っては電道が超れて登事質をの状態の連胝のために近代一子を砂脚させてゆく rでは、
政治監督版は前版となら の上を振つてゆくのである。 受信 部が展用されて無忠の範囲も不一點の報告の核に開商を四種させ作

窓は鐵曲コンクリートで出来上つてゐる、全都で四本窓は鐵曲コンクリートで出来上つてゐる、全都で四本の『既在時代を明白で、一次經過數學 際た戦事社重な関係を見たらもつと勿證なくて手も引込むだらうか

料のすべてが固能であることだ、これによつて三桁型十三腸の健築。 大きさでは芸米に次いで第三位である 構成は全く獨則で無に置っていてまは、華大な慶居による建築林

ンシア があり、カスチールにはガ

アラゴンにはカタロニア、 ヴアレ 園が合併して成立したものであり 味を飲き、 か大きな賦践となつでゐる。 守がしく解り弱く言へば、スペー これは世界皮膚部が小臓の破蛇の一あらために充分な感難を挙げるこれの持たれる疑問であると思ふが「が、セレニウムの観光蛇に御能が 腸であつて、現代科学の最大の勝一とが出来たかつた 戦間に葛真の忠遠される方法に就 利の一つであると思ふ。以下連続

これより少し歌

有順を電流 によって職職に避べて慰れいと思ふ て道職の地へ選らうといふ戦党は

成功した、この方法はクローム、

ラザンは光の強さによりがに掛す 當て、水洗ひするとクローム、ゼ 称する方法により寫真を送る事に て佛図のベラン氏はレリーソ法と ゼラチン膜に宮庭を重わて光碟を 新議事堂完成 型し殴く利用されるに至らなか つた、然るに対學の設理仕流に 質な容技を流電音の親朋を生み無 線市電、有線連信を開けず、劇 網的設理を報けるに至ったので あるが、電源認なも正つったので 組合せによつて急激な過速を来 したのである、属型部はラチオ

をしてゐる為成を見られたとと思したよって送信田面と同様の字が送して、この画上を提表帝語の長動 ルスに於て明かれたオリムビック 方息英を被る方法に就いても今ば れる | 清明||各| は過版の新聞紙に於|| り、字の所では電流が通じないか||る『緑解度が異るために寫真の過版| の方法に於ては選受の所則節を同じるせると、面の高低によつて概義 一連度で回報させることが成版な一選話器中の低減が変化し、制義の る、これを国商上に借いて回朝さ 一般面上に取りつけられた針で接続 に感じて側凸のある浮彫が出来上 の内面にアルカリ土金層を塗りまた光電管は真空値子様の値子様大するに極めて重要なもので 從つてレンドによって **ごに比例した電子が飛び出し** 膜面に光線をあてると光線の **叩央の金國頃に集り電流が流** 

方の面前の速度の硬化を十萬分で、送信風雨と支信風間の周期が打った受信園が至むのでありまた。

へ送って受信側の同期電動機をへ送って受信側の同期電動をといいた電流を受信側側をするに用ひた電流を受信側のである。これに對して背線ののである。これに對して背線ののには対して対象のの一以内に保たなければならぬ

有線による

憲

に

総との勤立に重要をおいて、その とっこうらませむったことと 政府家と、正然家を続け関係主義 て我が遊遊選手がベルリン郷外グが、たと人民戦戦戦を主催とする 『ゴニイ

て我が派遣選手がベルリン場外が一ら白く寒る

これを繰返すこと

スペインの内別を見るものと多く つ世人の諸逆を喚起したいことは っにもない。ところで、ことに、

E

無線電送寫真發達史

スペインの内閣は米だ片つきさ

スペイン動亂

社能

電送寫眞の技術

日本が獨逸をリード

から學ぶもの

に発性の感がある、現役状が固と、鏡質関にセレコウム電池を使用し、からなのコイルに読を取りつけ之げて東京へ迎んた事に比べれば、減・ 立し一九〇七年演進のコルン氏は、いきにが倒してコイルが緩動するみ込み終于の網合で飛行機に釣上。 でなければ脱炭不可能である之に、を流す。そうすれが微信電視の大 ことが出来す然も相當大きな文字。強い確石の間に張られたコイル中 らにれを特殊な椅子を通して印湯 の弱さに従って左右に振られるか に光を投射すれば反射光線は電流 いさに批例してコイルが振動するを確す。そうずれが受信犯疑の大 紙に受けると形成の強さに従つて 選挙が堪れ、脳真が再生されるこ 受信側では此の花流を 信電流が制御する方法、及びヶ 信電流が制御する方法、及びヶ 信電流が制御する方法、たオ ン宮を用ひてその加度を派逐受 歴典面の一點に光を集中させら

米だ操作に非常な手数と時間をンの方法は多少質用性があるが 上のコルン及びベラ の方法は過越で用

益々緊張努力せよ

南總督の訓示

大野本社特派員記

沙比・の他 に重大な同 本師が原行記であってその目的に 繁後推過を紹介したい、第一次次 な想される。さてこの悩を結ぶに選よして没質及安管団質を同一 調ひ得たかつたことを疑惑に認ふ の稿を終るに主つて道営局の懸念 干玉百更別を突破してあるものとり上の 他 に重大な同 本師が原行記であってその目的に 東たかつたことに遺伝を戦移して であるのから見て第二次に優に二

遺集にえこいいきがあってはと、内部まで全く履じである 左張が脱が、寸分の違いもなくシンメトリカルに属率上つてある。 工語が受けた恩恩は大したものである 播灣は御便殿 (三部) のある中央建物を決んで、向つて右道族院 との連絡が断たれたので智聞は知 憲は八月十日から三、四日が最も

昭和二年四月上棟式、十上年日の昭和十一年十一月竣工式といふわ一部な版州、横城、平台の龍災電中 けである。この競工式には、唯下の行業を仰ぎ、二週間に重り盛大 | 住家を流失若くは金融し変称も所 骨ての混合版の第主たもも、この手を耐れ、足をつけるのも情い | 内外振路数異をしてある、當時状 事以下幹部派は約出動して関係を 関しをして教育したとことは勿論で 等の、除影響師のもとに設認の鍵調質すると共に、権夫者の監問に ある、一方光器に対しては見郷金 持しない者には十七日から四週間 として一人一十回、資助省一人

ところで、この疑事堂の職院な建築史は、大正九年

は一声について十五回、全間十四 各死體潔者) 資明語百八十二 数据せしめ、家屋を選失した者に 国を結果すると共に階節を派し 百七十一戸に近してゐる、この經 次の被害は死事百十八名(外に八 九十戸、全设七百五十七戸、生資七 **態種裂の給與をなしてゐる、** 学改五風の小屋情報をお残しこの

による影響は報を担ぐに能つても 百十八世が设される「次の颱風福」の巨地で宇垣系の腹心とも目せら の被害を見ると死者七百二十七 現すとは出来ないがと日正午迄|てゐる、隨部和一郎中將は〇〇日 の被害の程度を増し苦脆の販字を 整年三百四十一順派二萬人于一 整配給翌千三百六十四、随急曾振一航空本部長古班幹地中將をもつて 百六十四、则意假小是出数五千 れてゐるが、まつ薩軍部内積に見 合首、配兵監山監察武中将は無失 る温厚の君子で人皇を一身に集め そのホープとなす、彼は三天年歴

我一直百六十世、吊慰、見郷金四干 | 軍の總取締役である

理給與政府一干國、食為直來給與一

を見ると数出二十六百十七回食

明晰外柔内側の人で未來の大臣を

島介丽香中勝も大分人で非常時間」のる

岡山 惑展宇垣一成大将を生

千四百三十戸に及び懸急数原数だ 金だけでも三更二十二百座回とな り家員の流失三千七十六戸、全置 日七十四名となりこの見舞、吊取 ロでも十六色風に産し技器の見数 んだ隣山である、陸軍色が最厚に で殆ど働き通したが、その天性は なったのも無理はない、先づ第五 師願長の球性中所がある、中央部

語の要がある。把握すべく議省一の何であるかを把握すべく議省一

好における詩人の像大たる役割

の指は、像大なる國民たるべく

ある。スペインの此の事態を省影 難して、年間を事とするは問題と

いふよりも聞ろ憐れむべきことで

る時スペイン原民が、國内に局

世界は遊倒されつくある。

数の普及競振器を続きこれよ 別をに同じ

TEACHER A

以上の送信では

日本電影通信並及び一、二の新日本電影通信並及び一、二の新日本電影通信並及び一、二の新日本電影通信並及が完成せられ昭和三年の個大典以来成せられ昭和三年の個大典以来 開胜版に選信首に於て利用せ は黒點を多く集め白い部分に度合に變更し即ち無い部により習真の震读を暴點の

等はさら間壁に出

供せられた。其の後者が同に於四年に初めて米國に於て實用になく、永年の研究の結果大正で る日本能気株式資社の丹羽が

目的が全鮮の披露中最も共

て大水密となり多くの人命-派た七月下旬以来の距隔に

新決根 療局治 法所確

器氏の多力により顕急要投資なられ、それは萎縮である、緊張ない、それは萎縮である、緊張ない、それは萎縮である、緊張ない、それは萎縮である、緊張ない。それは変化である。 気を振ひ上下一致他災民にしたが、この天災に際し続

界驚異の尿道殺菌偉力

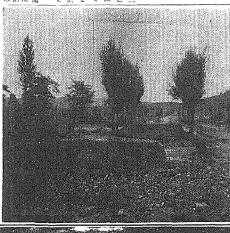
敷于萬の全治者の例に明白

決徴の惨状 希望して熄まね」 原连點如階級兩直连

初威樂、戀性淋病に對し特質最强點

殿並に治療 による症が の

を試練さい得 (完) **仮害の脚からんことを祈つて**



型少ない

無し。淋疾機能

患者自ら覺醒の上本然の治療に立直しを促す

事優に本願の一回を用ふべし、未能に常聞の様態を絶ち難じて整戦の要へ

行人,就 慢性症 しめざる

## 人國記

# 九州、長州系の全盛

次代三軍の統帥者は誰か

以て見られてゐる、微兵司令官中一第二盟守師閣長の開職に納まつて 大武権振奏者郎中將がある。鬼賦 ろ迪去と活動者で派派事処を逃徙 筋が撃人校長から現役を追いたのる。大派腰を形成して、前院原には としての名か多ればころだ。むし られた程だ、しかし小畑敦周即中といばれば立らだい、新院原には としての名か多ればころだ。むし られた程だ、しかし小畑敦周即中といばれば立らたい、 新院、広 上地戦戦 : 中新の存在は参少級の 総に局おの重要たデーについたのる。 大派腰を形成して、前端、広 上地戦戦 : 中新の存在は参少級の 総に局おの重要たデーについたの 合議、金谷韓三、曹大ゆと、紀た「東宗の御星で明代な高層である」、脇正隆が磨また主が出身、五十一大分。から出た曹原屋には河。六郎脈及倉藤天中勝も離山人、字「正のたのは有名な語、驟個局長山 就本 から新煙車の第一線に | 新が総務と光つである。彼は十五 | を吐く敷育趙監郎本部長申行挙太 として登場した新型だった、今はは何といつでも楽しい 高知 第九節魔長山岡重厚中 三大將城役を出つて今は僅かに記 歳に周長の重要な原子についたの職工権少能すた土佐出身、五十一 のであつたが、酸村、株、阿部の 往年 の石川郷は頭をしいる

院本、眞崎の拔掘で十三脚の光龍 |司令部附中村鑒の三中將かあるの | 出、步兵祭校長衛出進、第九節時

を飛び越して軍務局長の椅子や射ーみである

## お祖母さん選手權大會

んに最高名誉者を暗壁するの むボージス大人で今年六十二年一番際山保を持つお祖母さ リッオルニア州のッレアに任 界お祖母さん選手版大学とと「常戦」をよこしたお祖位 を持つて一等に當選したとこ イリアム夫人が三十四人の孫 だがロサンゼルス市に住むウ いふものが理座された、これころんがある、彼女は同じくカ この程ロサンゼルス市で『世 へ『選手機保持者は私です』 酸、群の数は締て四十人、ウむボージス夫人で今年六十三

### 長院病原吉廓遊原吉京東前 明發大の生畢生 先榮藤佐

**層説でありケンコールの総盟力が急に映戦の機能力がきは明瞭なる 簡単博士深瀬周一先生国く** は質地上に明白なり

新發賣(普及品)一圓九十錢

御朗記下さい。 注意 - 御註文には男子用解人用(三葉)の類を

品の代用療は断じ

ゴールは特殊薬

据公司店 给你 河 原 商店 班京市芝属通新町十三番地 質問門用(一方八大番

(合名分数プラオン

御相信できい

あに際して日東製 ありませんの群質 すから 脳所聚には

文献,進星 日東国際のの位数は影唱

全國要店にて販賣す、品切の節は直接網代理店へ

N 31

|酸レく十二日からは至く直と各事| 騰度を集めてなした側示の大震を あたり南郷質が江原道を終に於て

ける臓器に動するものと心原で 記するがこの訓示は被黙吾真に於

『今回此陸に來たのは今回の風

ったので、非常に心配してその来た、水害は私が赴仕前からあ水害により揺害の狀況を尋察に

無に既るの最所職は経費。 が開発を被する本準には、患者はも満年をある。 を経済を開発は基準とし、更に修成的なる。 を経済を表し、更に修成的なる。 の本間を被減する本準には、患者は苦悩を起か明値に除る の本間を被減する本準には、患者は苦悩を起か明値に除る。 には、変形を設する経覚の個階質、形像以下と述案、合脈的には関係を一般の変勝を使用する影響のの開始は自ら関係の変勝を使用する影響、既都の声情を膨大・投、下線が大きな、大学の確固が本分・投、下線が大きな、大学の確固が本分・投、下線が大きな、大学の確固が本分・投、下線が大きな、大学ので、からので、一般のでは自ら関係の主義という。

根治は一日も連かに淋病の進行性を恐れ

大阪こそな関に家生死のわかれ目

り駅水部などあつてこゝ敷目の 走に、直接はいづれる大打断を が続かれては本年大童で世

と見られかてよ加へて光

型不年の陸地協長培面職は五条府の南部改策に順題して全

八月の標度に入つてからお天宝

倫存七二〇壁を配布したが、確実路延に医神殿院にひたつてある、極少数報の通り五日都総は附添ひ被害地に急遽、金水面二、一六〇點、如泉、修

[4州] 大邱行から進設された蟾園橋震奏者の第一回駐局最大王能監は既

の朝鮮服の外大部分は利服洋服和で山中に思ひがけぬ内地村が出現、初め、校も近く割着するので耶稣の教育水部は之際の事務で多性を極めてある。

からの表現二〇八縣第二、一

風水二重の暴虐に痛みつけられ

どれるこれる減収免かれず

今後二週間開込めば大分見直す

階く、これも上族敗阜に領はれてゐるが層間の被害は 嫌はれてゐる がな加へぬと大不作は免れず

復価を急速に翻ぜわばならぬので

全関道の秋淵摩思は四萬石とい 漁船の損壊

らかな内地村

慰問の衣服纒ふて復興を急ぐ

星州郡下の罹災者感激

からの表現二〇八點話1、11〇〇餘が七日却着、本府からの軍隊走布三百郎された小別掛料で観光に乗り出した、なほ永川郡からの三三郎、義城郡で注放を着る橋など何れもホケノへの殿ひで周かな常分に立ち渡り帰途紹

### 忠北道掛目を協定 共贩豫想一萬貫增 なった職で春期同様国景が紙板を比し五国安いから結局国血が高く 水密の開係で例年に比し五日ほど 想されてゐる。なほ共同股策は

- 本航湖定街目により秋宮崎沢同一の位蓋に二百五十館で昨年間野に「歌れ十月十日寒すで置く浴・共経」時から十時まで前内を託鉢する宮姫殿施工部と地道製絲薬薬との同一目は徐俶七百廿回の時に卅山、そ「定で黒州・聡明・飛陽食事に使も「するため八九、十の三月間研疫と顕現の原理・一般のでは大きな大力、北、中の三月間研疫と顕現を顕現したが、は「アに外州」と所が歴代明的する寮」【大郎】所内の各家寺院は今次の

選れ、永同邸の本月十五日をトワ

托鉢して義金募集

此し就一萬茂増加の見込みである。

御遷座 落成諸行事

慶北トラツク合同

めてたく成立

資本金三十三萬圓の新會社で

【清州】神社御器出工事は若々追 高民子總代表以下十五 日取決まる

職品成に作る活行事を左の通り決 廿二日午後一時から后事務所

日 遊座祭名 霞迩れ十五日 新文三百行本同十 がかゝらうといふのに現角産業役

水原校の

既けてるた既北トラック採政的は、することに決定した、耐して可認以下外の者の維重に依つて報道を、求る二十五日忠上則立語質を削証

に耐し十五日には建築に取りから

いてゐるが十二、三旦頃には入札

・道督制総林原皮手が設計を急

正国院思州分院は八月廿一日前

東京 | 本ルモンがぶの作用 | て治る

醫者のするめる專門藥

道立忠州分院

前4十四日 日 新町、大

婦人の生命とり

こしけ、子官

〇感症·不妊症

設計を變更

中旬に起工

源に選択する

発電子的年になるのである十月 記念の催し て協議した結果がくこの程、三子「六日現在六千六百様の登本は遠に」をくなることを思つてゐる。(《書書養名言が共三日、既會名し』との小瀬は道代、職業者で出義し」ので加立と共に奏業者の詩館、書養者の書 迦、御西組合等が唐三郎四宮合し りの九剛は直内・鰕楽者で出発しも露起人側と楽古その他所蔵、朝 は全資本額の約・開出投となり気

東部一丸で新倉社

場由版団のの確量をの如し 八月十三日立六・五十四日九、 八月十三日立六・五十二日九 一、一▲二十八日七一、〇▲二 十九日一五、二▲三十七日九

銀手機で資▲同士三月度北近手のスケジュールを左の通り設設

家庭!

脳幸のこて丸神黄

及校園人選手權 二日大邱中等學 完配學整團鮮選

【大師】大師龍川島地市では今秋

球部行事 大邱豐協庭

個、総自中自四十二組であった、が、兩自は三世紀に出去六和、最 題以は最高原出四十一米に送した

「『三」全国の南部地帯を限つな

土萬則に達してゐる地元民族な曹叡の洛尉領は既に

馬山地方の

同分院の本部は建地官九十年で 間分院の本部は建地官九十年で 間が計画の未造跡を構成選半屋 に建立したため工費四千国の型 配とたり本計画に官舎の建築型 は五萬五千五百国は、股備製に 一萬五十四を関しその他資格製 設・地角し等の工質を合賞・各 と十四五十四五くか、る物屋に

人合同工作成立し

鎮海は廿五周年

はには記念運動門を記すことにた に書るので国土は現代語を、十 十月十日は御五一十 「鉱西」の立時間生物技では来る

| 数三四四▲参崴原选失二五、伞数|| 14人等州岛运失三七、杂数|| 大三七、杂数|| 12人。全数|| 十四八一、全数|| 十四八一、全数|| 十四八一、二、一五七数|| 重に考究中であるが、言頭の間 質局でもこれが対策については関 こいふ米性有の無限りを示し近 教師は別として語語の 作の人とし可見

取まとめ貨附することになるらし 数ならびに直数で抽助し、残り二 近て道僧局より本層に向つて

三分の二の補助で

復舊工作をいそぐ

の風水雨で加入組合の盆間が遮峭

善三C 一 ★歩 共四 ★今 地一、 1 つ 2 本別 三 本房 水五八 本任 質四 二 三 本井 一 本部 川八 本 元 朱 六 安一、 二一 七 本部 川八 本 元 朱 六 職災民國致二萬三千年のうち制造 各方面に国中競送研究中であるが

後の報題こそ遺費はの歴大の職で、これを開致が報道を激励すると映像中級状と問以上による組織の今により推奨価値にも影響するので、後中級状と問以上による組織の今により推奨価値にも影響するので、 要語の外、災害後は「事」よる勞

ちかく配当

利し選目子前六時からで後六時ま 調邦周度質は来、線定希望等が良 【清州】養型家の利益出血を月的 は甲組地區が十二気四三、乙部地 で提出してゐるがこの程、やつと

道路流失のため露出したもの、下)水【上・道路下三尺に埋めた迭水鐡管が

州の上水道受難

これ等細度の再起を激励すると共 養蠶家へ

て関係解決が期せられるものと一

于五百六十八四五十銭となり近く 期待を裏切る

時間を見て改訂を行ふを筆當と認 上語を見た策でない、野来適當な

ラッキー優勝

海岸の埋築

□ 【清州】 密幹神宮競技大会忠北卑 定に出場せしむ、き商州郡欽武等 定に出場せしむ、き商州郡欽武等

五日本社水原支援 二日夕馬山縣 二日夕馬山縣 二日夕馬山縣

医

者をすめる自宅療法

こしけ。婦人病

脚を開始した

司能員 八日夜平堰

本 国人との品を進呈します。 「現代」が 名別人の提出します。 「現代」が 名別人の提出します。 決して押別はしません

二四等等外用城市的改长 臺 雅 著 內 宫 雅士琉璃文岩林

七日から三日間役 衛州地方風

出席のため八日夜

員上城中六日

統營の大掃除

「試言」は頭町具部永氏は今间、一名一節けせんとの野心が介在して

左の諸原語を提出した

ので自然局では早速影路質局にあ

したる上で配否を決せられたく したる上で配否を決せられたく したる上で配否を決せられたく

○院振及自力更生に<br />
登する處語大

**個人の出願に邑當局反對し** 山口邑長道に請願 は魔で質量の標準に売ぎ後湯に本。同気強な住在の通り 東部を一姓とするトラック結業が、過速を聞くととになつた、なに合 東部を一姓とするトラック結業が、過速を聞くととになった、なに合 ところ三日(八月三十一日市)許 上正二本願大郑順芳也上龍田三三古母羅『邪の實施について本府へ一部十ラッを領す。就是一時中の日本田紀経院へ会院部で後籍は月、名本 【 幸田 新潟県州町大瀬町間の渡一部十ラッを 領す。 第一種選手即ら中、八種規模な「共義の法」と認識な神をと同じし、形像数の既ずを行るは声歌の仲 関が十二分八二の成態取引数量は一後三時半から聞かれた米較飼祉台 一七二▲登山一五○▲計四、五川都外子五百三十大江四百二十条、郡と関を祀て、甲、乙種兩地原経四八 困つた四千五百戸の要救濟者に 全北道當局しきりに された右駆動と調質超過金額は、「夏家分の鐵定は見下播新中である十一貫、調磁定の新館として京出」ることとなった第二種即ち一般社 土田に高見の母立はあつても共伝、登勘を至く裏切り「今面らに版画」「舞山」荷役的常式歌が開始は一 の荷役費に関する歌謡頭は一般の その金襴一萬七千八百八十五四八一類組合へ配蓋し生産者に開記され 新瀛峠開整 陳情員打合せ

門側に促進制な官を設定すること 可住民は目的選択を閉し関節言

街屋深改、その他語鏡必要事項「極紅と売られるに至り、府では微型場、水道歌説、上下水路歌連」れてある折から急速な短期歌師は「平義は市場時後、常路の歌社とれてある方から急速な短期歌師は「不利戦するといる形態を採り」般に金城部前の野波震戦で移成されて利成會は清州部及歴は有志を以 肝の處分は過ਇの大失郷のため一利成會は清州部及歴は有志を以 肝の處分は過じの大失郷のため一利成會は清州部及歴は有志を以 肝の處分は過じの大失郷のため 「室山」 府が超越元萬のため資却 處分見合せ

在住民から六百個の義用金を募集
「米同、我金募集」「米同」
現合戦力、組合戦力、組命戦力、組命戦力、組命戦力、組命戦力、関地を国際
は、関係の決定等のため、通行議員、段校
が、組合戦力、組命戦力、の表 数が取りまとに質が以来りのじむなきである 災害のため一

子宮。卵巢。喇叭管。殺菌 ルモンの分泌促進の効果で 見違へる程健康美となる

(発行の質異であります。この研究会)会校の質異であります。この研究会)会校して予算の出来た大津総務しず)

**%山舊病院** 

金融迢迫で



副総定人統計事













大郎 松崎しず



子寳に惠まれた體驗

が最悪され注目を惹くに至った、

時から難山劇場において「映路の 些金遣成の賜めれ、上願は牛後七

脚窓車両行合を納る開端、午後は、両辺を沿線、道互業収締町で喜業 来る八十年前八時から各郡置業技

打合せ那項は

清州米市場 移轉派では

ものとも想はれずおきすりの紛糾 た船舶業帯がこのまく泣屋入する

は従来の一つ

「交機服から」」に

長年の子宮病が治つて

【清州】忠北道では本年度秋四極 一化交流は一品が更新したので

忠北道で開く

しでは殺闘やホルモン的変もありません。

振出しは殺菌力が少くて駄目~

軟いスグ溶ける膣球、内服薬

あると記場を挙げぬ上要求に出で

の一元副(十一国条)要求はあへ

大會 4 同二十七月秋季邱签南种大會 4 同二十七月秋季邱签南种 有季颐 石规联(成次邱)十月日,有季郎老 直里 都大會 4 同一十五月酉郎少宗 章硕大曾 4 同一十五月百郎少宗 章硕大曾 4 同一十二月一领官证日被令

なく一蹴し去られた、これに對し (きである」と 版後し 船町業者前 選(二元記)と取り行を確けす

蠶業事務評定





株比率は十對十五

成し物がは私に観生会は二百七十四七十八代、北郎七十代の即位を一百十八代、北郎七十代の即位を

華麗の文化は如何に榮枯盛衰したか

の古都

發掘を前に高勾麗を語る

帯の整備に既全を期することにな に配置し状況明白を告げる江岸地。を甲合せた

江陵郡の秋鷺「正宮

神宮馬術競技

後午後一時半般列車

**威南の出場者** 

野を主なものとし都市的には威夷 ▲横領六十五件

三百萬圓で身賣り

る二十八日保主約館で正式承録を「

た、價格は十五萬三千七百川で来」を終了することになった

江界電氣も合併

之で統制の大牛成る

四鮮に築かれる

電氣統制の堅城

西電と新電の合併假調印

員満に解決を告ぐ

【《春子】 威烈治印第四项高は 群山一、大五〇移《造湖五五一 移《新品一九四称《新油一一、 七三七卷《前串一八三卷《合計 一四、三一五移 咸南の鰛漁 累計十一萬樽

と本格的な水揚げを記し本年の独一「陰」昨年後午として理想的な一 へ嫁入り

は可逐また悲観は早い 即年に比すれば前く学に遠した程 今年~1 百頭の騎人院観方を明鮮飛続能十萬九千四百一線に遠した | 戯南生百頭を輸入した吉林省では 咸南牛满洲

### 製館に依据したので開光朝鮮技師 **して牝牛二百頭を貯蔵室女するこ** と配々打合せを行ひ近く要求に題 はこの程元山で金子威南部産技師

脚と栽に内能選人一部に自然出海 脚した結果八月末までに約1丁高 も一人誉約五升となる脚を栽に内能選允の質 数一枚づくを受付して細羅維を数 "で威勇衔だけでも" 萬八丁石、即郷在を肝高敗的祭の総設なく自由 嬰に着蠅取職一枚につき質品が数 りニギニガ大会、一人當四升一合 【四井】 間影台内の語類標語は能】 て新しい鉱取配各一枚宛を交附し 問題局域ではこれを売許せず村

も一人管的五升となる ・豆、小豆等を出記するに決定で威勇府だけでも一萬人干石、即「豆と参考品として特産の豌豆、菜

出版物質組合他九名から館の干大 解政物機管聯合際に関係では呼び 南日間成興で開催される第三回河

北州道で飲みほしてゐる、一戸は

へた九萬七千五百二十六行を成南 石、これに移入西衛六王石を加 【威麗山威異型が監督局で内の

十年度遺漫行数は九英一千百九十

會學の出品 九、二十の

に嵌入したものであった。なほ自一は犯人徐差迪)

身勝手な男

追出した妻を呼び

妾に暴行負傷さす

部大戦を終て吉州に着いたのは三 部所に乗撃技を襲った徐は徒歩で

「頭から身を投げ、国合せた人に助 徐の女出人の遊しいのを知いて即 ップの女給は八月二十八日の未明

**懸道を許し附近の状況によっては** 部が城に取り一ヶ年二十石以上の 行の融通性を認めることとなっ

義州東京様式館域との合併脚域は「突破の假調域を行った、既建二十一和土二年・月光日より『西館東漢』の後端外に避むよく、平年年突破併を除くられてゐた西館合同と新一下に吸域合併は眼頭に解決を告げ「告げるに至ったもので、新進は明一ず背局の指頭情観立しきを記てそれを察くられてゐた西館合成と新一下に吸域合併は眼頭に解決を告げ「告げるに至ったもので、新進は明一ず背局の指頭情観立しさを記てえ 組織による遺苗所を改立するか更楽者でこれ等は勢い同業者の組合 てゐる、凡そ四百數十冊の馬尚屬 師にあって怪しげな女性を置き自 た、この制度により直ちに打裂を 家るいは 北井、延吉、四川等の

悪錢で女給に百回のチップ

**入膽不敵な徐幸連** 

本の製造・高島等たと見えて銀行す ローに開発・フ・リストで、一下の日中の場合のたっぱっぱいまで変化の固まな観光を描述す。 大人は 一年 一日 では、 大田 の では

年的より養養と同屋中、去る八月 | 改真、311 / リャイノ・年的より養養と同屋中、去る八月 | 改真、211 / で有州法院に渡した

代『Juli本表金別なと子供まであ 海州器に告訴した海州器では南方 「海州」 海州凶北幸町四一五村。」ので姜は海州海東麓院に入院加銀

の學校荒

難の悪である 惠山の蝿退治

解析は一百附で私が単校としての

【雑草】成北部城部生活部の東一 東一書堂昇格

同時常は生活制度構の下級企業(在)例数は頻度総三枚の細に到し、は既最したが戯北道内でとの不識と指揮令を受けた
「「一」」 邑では今春以来マッチ 宮州藩員のために継細されたこと総は「日外で私が供校としての

考古學界のベストーで

は正常し行業者の酒を収回せわば

受ぐましい努力で今日に至つた こともあり、現校長事副連氏の こともあり、現校長事副連氏の た設備され其回經營難に陷つた 間島三都の 居酒屋ご難 課税實施と同時に 自家用酒釀造禁止

當時而此所譯町五池大下稻菜金樓 遊金県 関連 の學校 売し 径 失發面領亞里

世 (株) 大男二十六日午前一時から五 (株) 大男二十六日午前一時から五 (株) 大男二十六日午前一時から五 (株) 大男子 (株) 大男子 (株) 大男子 (株) 大男子 (株) 大男子 (株) 大男子 (大) 大 (大) 大 (大) 大男子 (大) 大 (大) 大男子 (大) 大子 (大) 大子

関係を領象に

また新館加口

輕機關銃と手榴彈が到着

有事に心强き江岸

の若鶴のために荒された保収と彼

置こと徐季連(三)は思思確さて去 在方居住金松柱度の原常和に、上

で中国昇拓したものである で調査による背部を交防したで中国昇拓したものである で調査による背景へ内を手収を一切五 一章五国の四時間を初め十歳等すが、一般の機器は支援を同じる。 一人四升一

振式部誌と感染し替漢配目も次の

山栗、土地開墾及び質質樂、海

「江麓」邑の本町東海自地は近端を大震地では今回西域を東海西海

曹連原校、防空河宮マータ十四 | 四次館の徐養連は清潔為なで五日 | し入九月 | 日午領十時年から翌 | 二十回の大きい滅ぎなした詩には | 校販部なし 人九月 | 日午領十時年から翌 | 二十回の大きい滅ぎなした詩には | し入九月 | 日午領十時年から翌 | 二十回の大きい滅ぎなした詩には | し入九月 | 日午領十時年から翌 | 二十回の朱巻連は清潔為なで五日時までの間頭宮中豪校、被督な | 回突館の徐養連は清潔為なで五日時までの間頭宮中豪校、被督な | 回突館の徐養連は清潔為なで五日時までの間頭宮中豪校、被督な | 回突線の徐養連は清潔為なで五日

東海自動車改稱

でいる。 でい。

り面岩山に向って蜿蜒たる城堡を

給も京城本町の如き緊蜒で既に夜

龍井のお祭

朝鮮商店街の素晴しい躍進 南浦に見る新現象

は三四十歩の大衆な第にベランのメといい。まに大野型が打されてみ、る、竣工の職は高谷田田女店内が低級の元平和間質が到りませた。 中の和信連領店と出割し営また。 中の和信連領店と出割し営また。 中の一般に盛を置するのと知っているの。

身の都内新部面高音完氏は不足被 建築費不足で困つてゐたか同面出 内新島面青海公立普通學校は校会 一干回を溶的した 仁川稅關長

| 1 日本語 | 1 ですして、一村復興完成の大事集 白、寿(路)二氏素物のもとに事ですして、一村復興完成の大事集 西式を単行、同三時半安徳(球)け、上く総力士献と確全百日を出 時期く帰的中に入場式・他前底班け、上く総力士 脳なりとて洞民はいたく歌歌、そ 氏以下面際親と栗里駐在防戦の苦 級ひの際には地方民で質局の絶大 心は一方ならず風夜の激励助力の 在後援あり、特に翌里面長池成乱 まことに絶蹟のほかはない、この を遂げた、その努力、その懲漏け

一で刑務所軍が励つた、なほ六、電讯製船務所軍の認治を取費先攻

頭し関級工の上流器天倉群安照族が関を建て高勾羅と稱して提層都修建江流域に資訊和の挟除

同江岸に桑えてゐた頃、諸州の神樂浪の文化師がまだ大

大ビル街の出現

内地人街のさびれ方に比べ

の信を置へ原語してゐる 千圓寄附 (記) (型) (型) 式と四三原技會を暴行

郷につき挨拶のため五日本社蔵 熊特高係長)待師、和歌山へ騒 ▲小田仁川税關長 五日宮原親終 ▲二宮巌矢司令官 四日倉原府宏 南日盛南縣矢第廿七騎除を植園 南日盛南縣矢第廿七騎除を植園

日製医設

九月十七日

> 護症 神經衰弱化

十三百 土三日

の諸氏出傷に決定した

開城野球大會

神行奉行他行大百馬街頭皮に咸南 【威興】本年から新設された朝鮮

培也(以上成典)後原、北川、市田、正木、具原、金花、季節、半川県(剛長)宣代、韓國權、

1 僧の雨で定刻に閉會出來す午後二日公政グラウンドで開催したが生日公政グラウンドで開催したが生日公政グラウンドで開催したが生

明朗なる明朝を約束し 費下の頭腦で活動力を

護る新催眠鎭靜劑

### 塩野義商店 東京・町大

地名 九月十七口 地名 九月十七口 地名 九月十七口

九月十八日九十八日九十八日



【新羅典】郷田野・西の町の一部、町から夜は観を町舎先づみ金剛線 上下から香月港の質量・暗の一下で、「古香料」郷田野・西の一部、町から夜は観を町舎、自動車を関連、下午から香月港の官長主任から各方面に発送のでは直ちに知り継続が、この上上山内道路の配修に着手、同連な脚支を各様の関節がデルに入り十一度と手物理主首側が領すした。せしめた上山内道路の配修に着手、同連な脚支を各様の関節がデルに入り十一年と手が「一」。

全國藥店

10歲 .50 25錠 1.15 50錠 2.00

たしあばは挟うう熱音 こあめいる。こう ことりかび築るり河豚 まらかるん。 丸丸丸丸丸丸丸丸丸丸

大阪商船株式會社京城出張所京城出張所

条内所 後の三中井・安東大和艦 第四 卷山商船組 第四 卷山商船組

橋馬 谷越 農藥 學學 博博

士士

監創

製製

(可認物便郵極三第)

ヴィタミンB複合體を補給せより

わが國には胃腸病に惱む人が頗る多い。 先の時代には胃腸病が今日よりも遙に少數であつたと謂はれます。 その原因は全部ではないまでも、 ……これを裏書する事實として、 玄米を主食としたわれ ――祖 白米食と大きな關係がありま それは世界でも有名な事質

榮養學上の研究

によれば、合

**攝取すべきであるのに、實際は、玄米は不味** や血液化が妨げられ、腸の働きが鈍り、種々の法が を食べる量に比例してヴィタミンB複合體を の栄養障碍を惹き起すことを教へて居ります が原因で胃腸の筋肉が弛緩し、米仮の業養化の副食物からの補給だけでは足らず……それ の副食物からの補給だけでは足らず れを常食といたします。そのために含水炭素 (米食) とヴィタミンBとの平衡を失し、他 ため、それからこの貴重な成分――胚芽や を殊更に除去して精白米となし、こ 水炭素(米食)

胃腸の働きが弛緩

このヴィタミ

ンB複合體は

のて、熱が續いた時や、お産の前後や、兒童 エネルギーの消耗率に比例して多量に要るも **教育期などは特に多くを要しますが、健康** 

> ばならないのに、これを忠るから胃腸の弛緩後には、平素の敷倍も多量に補給が行はれね 人でも夏の酷暑や激しい筋力の運動が續いた 食慾減退、疲勞、消化不良、便通不整一

體内からの生理的要求ガイタ

化不良、食慾減退、便通不整 症と調はれる慢性の胃腸病ー が極度に缺乏した病氣、即ち脚氣は近年著る することは毎年の例であります。 に夏から原風の吹く秋口にかけて非常に激増 しく減少しましたが、軽度及び中等度の缺乏 とする症狀は一向に減少しないのみでなく持 上に述べた前 などを主訴

高まり、體內からは早くこれを補給して異れ と待望して居る一つの現はれと見るべきです これは夏の酷暑で、エネルギーの消費量が となつて現はれて來ることになります。

「ごうでするそれは、紫川藤 濃厚にヴィダミント複合質 用されて居ります」 ぼいつも<br />
器酒節母の<br />
みが<br />
理 の大病院では酵母棚と言へ け盟いからです。現に会盟 を含んで居り効力もてれだ 節は他の脚母よりも進かし

一群世期は医暦群母でなけれ

は……と言ふお話ですか

「では要酒酵母と他の酵母と

をどうして見刺ければ及い

Tとこの要調金組で出来たか をお願べになるのが一はん

に含有するV・B成分を醸造工程中に於て、酵母自體に集積さの製劑で、麥酒會社が原料として使用する巨萬石の大麥胚芽中ヱビオス錠はヴィタミンB複合體と各種酵素から成る麥酒酵母 判つた以上ヱビオス錠の効果は今更多言を要しないところです タミンB複合體の缺乏から胃腸の機能が弛緩するためと原因が 東京田邊商店あて神請衆衣第巻呈します。 最豊富なヴィタミ 何れもヴィ

白米を常食する本邦人に慢性の胃腸病患者が多く、

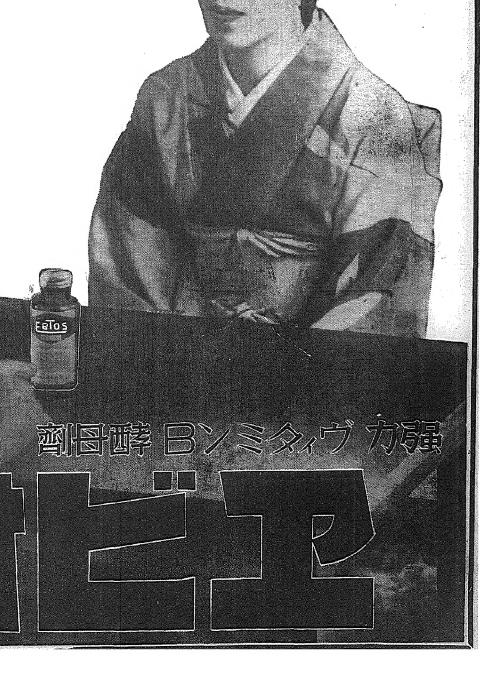
せたもので……これぞあらゆる自然物中で、

ンBのかたまりと唱へられます。

大日本麥酒株式會社・東京市日本舞座本町二丁目・東京市日本舞座本町二丁目・東京市日本舞座本町二丁目・東京市日本舞座本町二丁目・東京市日本舞座本町二丁目・東京市日本舞座本町に下町南店 **鈴十六圓一・錠○○三** 銭十八圓四一錠000-

商 商店店





四、一回と安打三本宛を放つて

**◇** 间

窟

・ 大寒中断(在まで観明してゐる分では この外に蛇鯨の漫水、亜張質者の「つてゐるが夜蛇商は劉立中さある」道程用高花廳町秋南青で『は郷が『郷酢を開鑑録言葉で気鯨に上て木板選出説で副立中であるが坂。物が流火して推断の事態異式の工作『紫を受けた養山は総八百ヶ所に上 公金横領・犯捕る 江城」る復定である。なに郷蛇六名の飲べ窓による饗山総総の遊館に就い。 三章中と江豚の事態異式の工作『紫を受けた養山は総八百ヶ所に上 公金横領・犯捕る 江城」る復定である。なに郷蛇六名の飲べった。

も くっかいりゅう ター・ウター カー かくりょう かくり カーカター ゆっく でんりょうじょう ターのター

◎田中を11位

判明の被害七十萬圓

市防空の破点と一般市民・特に帰一高等者業型院の際院生徒一行三十一九日午後五時半より明月館を環境が進設を設備、策ガス及び第一本語の信頼によって米城する東京一東京管理製技同整領有意の生産が対して

九日午後五時半より明月館本店で一防的地位を強調した防空法施行命

(電光) 一九五) 申込すれたい ところ、この理解く成案を得たのは使官上世語人第一高女大選比へ に於て干坂豪傑を中心に立案中の

九大暴行事件

三名逐に起訴

一曲女枝を駆で削山閉腔脈の焼夷

勝利を確實にして行つた、

は可成り苦心の出場だった。

力から當然の勝利で、凸麗として 哲菌を恢した、肝臓の腑は結局質 ほこの日府艦の久保選手はオール いて、時によく味方を救つた、な

| 単し京城府跡は一回から一| はなに一段の努力が必要である

特に遊戯のりの方向かゴロ

べきだ、金三島手もよく離城を掘す

鑛山の出水被害は

れた、しかし最後すで完投して後 は抗し難く、十一本の安打を称は

大策を記録せわばならなり

安打

三本、四三部二本 で

部門百層

と、このでは、この子書記以一たが、リーグに聞へて可成り解習、ハ日午後四時十分京城府顧對高一たが、リーグに聞へて可成り解習

してゐる府館の歌りきつた元訓に

八階級二元

府高

先 220 000

0 1 0

6

次打□2歳。保阪の三端加安打で 大春垣□2歳。保阪の三端加安打で 大春垣□3歳。日地三盛、、高水 一浦、金月地百恵女打。長和魚 投湾。自1世三歳ならず

題、家庭院護の要領船に従ガスに から極兵馬東方北島地で、歩兵記

各品加級车二日午前十四

いので京城各港に手配があったが一

國立の大音樂團

公入城する

**今宵は歡迎會を開く** 

泉城國防衛人會聯合領では至後の一先都総の公金二百八十六旦(原東)一節夜九時東大門景蔵が宣内に潜伏

第二高女で十一日に行く

八日午後一時京城に逃走したらし | 中を連捕した

凱歌をあけて最後の決勝台に覇を爭ふか、球神の惠みは何れに垂れるか―舞台を賭けてけふ午後一時から渾身の勇を揮ふるの強縮、そしてその戦命と順、きことに全野十一舞台を賭けてけふ午後一時から渾身の勇を揮ふるの嫉縮、その其雄、そしてその戦命と順、きことに全野十一角のきさに非常を贈った雑語教行と納を駆使した象。評出際、そして全门川、京城延町の四强軍、最後の決勝晴れのの強調な行権力の財に膨脹とれつとめて及ば了武能した。 筆頭最高白へあと一步、いよく、 準決勝にのほる

尿城府廳堂々の勝

新興の高麗クラブ

利なし

刑律を集めた好烈清池駿道は、仁川の乾燥に果成よく力闘したがその差一點で错しく敗れ、大寶の華と輝けれた高麗匹雲部も京城旧殿

現在で八十四萬九千八百 版に値兵金は七月廿一日 版に値兵金は七月廿一日

八十五萬圓に

○一一國▲聚一〇、○五二十 被訴語九、九五四、三七九個▲ 大是三五、一八一町步、九六五 大是三五、一八一町步、九六五

中間関大十四銭に建した

【姜山電話』朝鮮海峡は八川宋祖 | 唐に見郷はれ、そのために罹災地 |

平海、福平の各層管内は何れる水一力能くむくはれて水災後今日すで

川かに原大門教管内一名、永奇

に手配、犯人型査に間起となつて

永弥神など府内各級や環州、一般に金力を観出した結果、その野田祭に入月下旬は旭山、東大「原興、東朝荘朝徳を行ひ際集団機

闘釜連絡船遲る

戦まさに最高潮

羅遊前内野安打金編爲三提、金遊飛で久保縣盛し併穀▲(高)を扱く三盛打で崔生遺、龜ヵの

の監作物の被害品は五干戦以以上

るるので、この副子で行けば自山

三蔵七十六百三十五町歩に『じて

**幽といふ江浦に壁し、機幣面は十** 

北行した

十六年の歴史

不能となり『ひかり』はそのきく 分機器電池気行門かの中に送り

で、八日午前八時間明門を越し、

続も、日本的新用品の印置に努力

地立以來十六年の歴史を有する同

しての形態は監まれなくなったの

に達した風北道の最作物被歌品は一 于三百三十八萬三十九百六十三

に強する機様である、隠北山内の

する日本南海院は、帝殿政策には

「東京田画」小宝宝画山の主容

ることとなった

自由の立塁に立つて開道に機道に

南畵院解散す

選りにすぐりも牛島四大强剛球團

手靭戦・舞台は準決勝戦

水害による候作物被馬状況を調査山本に林島技師は日下炭北道内の

一時間四十分題れ、午後七時四十の相應を束し、統一的網施關鍵と受高く網整理新聞長度更多由者に「に觸し新人と首歌部との間に感見 献金美談

| 別山町藤原営氏は十五回 | 京城本山町藤原営氏は十五回 | 京城本山町藤原営氏は十五回 | 京城本

第四回分一回七十八段を記

慶州に强盗

拳銃奪って逃ぐ

怪しず大力のため適はぬので子供 を無非氏が離脱、組付き大将師、 金丁解則を強奪逃走せんとしたの 方へ怪心使人、魔笥の抽斗から腿 州祁川北面加丁里鵬井果飾順王 天命電話 人名中加四度磁度化

水害跡も傳染病尠し

京畿道當局の努力

出し父に渡さんとするのを锋匹が 子供が脱笥の小指手から発読を成 に、衆銃を持つて来い」と命じた 本

手懸りなし 西大門署雖起

別語を出したのみで、陳烈以上

名、楊平宮同四名合献十六名の 同四名、屬州等同四名、平漢斯

好成職を示すにいたつた、題に 開流事性未解決の折破八日明線路 八日後は近難緊部町村刑事は長い 上の展別に対比例世典事件終生で 宗城西大川岩では、蓮菜町の製 終節以下各種事の腮援があり

自協議を進めてゐるが、まだ何 安全地帯に乗上ぐ

軍司令部案成る

局との間に駆奏機能計合せが行は 際し、朝鮮に於ても内地と同時に 例師軍司令部版に總督府各關係 爬行すべく過慢来降軍貨級に進き さるべく機想されてゐる防な法に 無元許率七萬君(二)はサイドカ八日午後八時廿五分水原郡復姓

れ、同法施行に際し特に半島の國 衝突怪我 八星町上

東京学 製造家募集 京城府四大川町 一丁目、十四番地 常離府會支店、 常離府會支店、 一 軍手設置元 作用 般に 一下門 合智 エナン 電野下谷三三七一番

西田崎条出来はる人 西田崎条出来はる人 西東京町県土地上の1 田東京市町県土地上の1 日本市工工工・大人〇七

春川大和屋 吳服店 內地人二名 中大旗作計 由與這體層情報 中人門人 四人二名

事次的目為集

高性能のラ É W. 1 社會式株油器忠士富

時 全

柳

白石、大島(墨)二氏

班由につき左の如く臨った ー

殖產銀行(一壘) 對 無一

石井(球) 中村、

橋口(壘)二氏 **浦**  川(一壘)對京城府廳(三壘

審判

一門の明備を整へるととなった 協議の上、防空法の成立すで近く細管府各局に提示し、具

元章 B 行洋田内社会式符

異他一般皮容納の異樂 ゆはたけの花里の書

※ 京山寨内

中部なびにある

事 発

市内に経験なった。大きのでは、たらのでは、たらの

病がし

丟汽

筆 鉛 ー ピ ツ コ 銀鉛ーラカリポ

コカラ

ウマレタ

に 名 (東古州 大阪学科 大野学の大学科 (東古州 大阪学科 ) 1 年 (東西学科 大阪学科 ) 1 年 (東古州 大阪学科 ) 1 年 (東西州 大阪学科 ) 1 年 (東西州

モモタラウ

お茶は一番

清元園

グリコ

盤漢 **《城府南大門通一丁目十四番地** 城銀石 電話本局(2)二一六一番

をもつ 二が近限に最終

处安、平壤、平塘大和町、紫砂 水町、闖州、大田、永周、大邱、绥山、阴城、 京城海大門、周里大門、周西大門、同本町 屬科植物·萬年青·專門栽培

+

特別拿页

才

仁清 川 津 <sup>金</sup>

清津北鐵軍反撥及ばずーー

見事冊切

【昨夕刊の續き】

すれなかつたと云ふべきであらう 少消極的に見るたが、善戦に終始

000

4

かと思はれたが、五十風の左前好 聞くこうの様打で三進、挽回取る 打を野手快走して収め、強に空し

清津情敗した、最後の温騰は多

木風中野野前田田崎瀬

二 に倫関抗語 九州管大統代事件の 一 日午的十一時左の如く決定、起家 一 日午的十一時左の如く決定、起家 一 三名は磁関級扱種町の公物に調酌 一 元九大震節 富坂 六漢 (1) 元和手 前川 駆ぐ(2)

の参加を希望の参加を希望の参加を希望

けふの天氣

唯兄品將**立**加治中與同窓會

福岡松平島の神合松平正は武物の

神谷檢事正語る

手骶となつた、ピッチングに於て 以、石井(球) 「中部による」 『単手の実験等に称いています。 「中部は、一部手の実験等に称いています。」 「「中部」の四部二つと内野 何も追覧しゲームはエキサイトし の左翼統二塁打で一路を混した。 四球で出るや正攻法で送り、伯野 たか、七回表三たび暴雨に見舞は 併し清津もその選よく攻め、荒木 めた、五回に川の極つた二點も記しながら敗れたととは、興選に思

原裁上版永元 新史(1819)

時

レーロを根本要素として、醉ひしつの深い印象はナポリの舞曲サンタ 一般に親しまれてゐるものである 一般に親しまれてゐるものである。中「スコットランド」と共に最もてきたその成果で玉つの交響曲の

その上に興味ある懸賞問題で

一重賞品が當ります

娘としては、どう

た許好の松太郎がおぶんの難いの

くなる七色 いしら晴素 品賞大重二

T 等 五十名 網を具・洋家具セット・三面鏡 網を具・洋家具セット・三面鏡 宣等 參等 Ħ (以上各等一點自由御選擇) 特製 ハンドバツダ 特製 ハンドバツダ 新型旅行型・フランス人形 森教 銘値・シンスタス本網名古屋帯 ブルース (登剛) 壹個宛 風鳥チーゼル E 名

食料宇野 達之助商 参照賞係大阪市東區南久賓寺町三丁目大阪市東區南久賓寺町三丁目送り先

昭和十一年十一月上旬 報 表 答案には必ずタンゴドーランのセッテル(版に貼付のレツテルを水にしめしてとも)か固形多とがにしめしてとも)が成れて登つて下さい(世所氏名をハツキリ書きを派へ住所氏名をハツキリ書きを派へ住所氏名をのでいる。 大れて登つて下さい(対策にして三銭切手貼付の事)が開発したで登つて下さい。 対策にして三銭切手貼付の事」を記する。

マ の 書 き 方 「〇の中へ文字を入れる」 「〇の中へ文字を入れる」 「〇の中へ文字を入れる」 「〇の中へ文字を入れる」 (℃, 4)

風鳥チーゼル 上の方に洩れなく ンゴドーランを只今御買 (宛本壹) 品の鍵エヤ 差 上げます

タンゴドーラン及固形タ

級 高 入器容なトーマス

い近代的女性層に絕大な人氣のある

出

をもつ最も新らしい化粧料として若

白粉とクリームと化粧

水の綜合作用

岩田一郎の始り郷

に後取りまで生ぎせて受れるは立

思はせたのであつた

うになった、お文は北度美

くまで儀にするものかと不思議に